大正六年六月二日 (一)
京城日報 (土曜日) 明治三十九年九月八日第三種郵便物認可

京城日報

一日夕刊

定價 本紙 一ヶ月金五拾五錢 ……
廣告料 ……
發行兼編輯人 奧田直毅
印刷人 小川三之介
京城太平通一丁目
發行所 合資會社 京城日報社
電話番號 ……

支那の形勢

▲國會解散を要求す

河南軍人會は三十日中央政府に打電して二十四時間以內に國會を解散す可しと要求したり(北京特電)

▲出兵猶豫依賴
中央政府より張奉天督軍へ

北京政府より王士珍氏の名義を以て憲法改正議會解散段祺瑞氏の總理復職を出來得る限り盡力すべきに付出兵は猶豫するやう奉天督軍張作霖氏へ來電ありたり(某所著電)

▲各督軍北京に迫らん
形勢益々混沌たり

獨立各督軍の計畫は各自手兵を率ゐ京漢、津浦兩鐵道に沿ひ旗鼓堂々と首都北京に進擊するにあるもの〻如く北京天津は目下王士珍氏の兵力により安寧秩序を維持し居るも北方よりする張作霖軍南方よりする獨立各省軍に挾擊されんか勝敗の數遽かに逆睹するを得ず其の爲北京は大恐慌を來し天津に避難する者頗る多し(北京電報)

▲倪嗣冲の獨立通電

倪嗣冲氏が獨立に際し中央政府に送れる通電左の如し(北京特電)

黎總統就任以來群將權を擅にし時局を擾亂し國會議員機に乘じて煽動日に紛爭を事とし驅を分ちて競爭し權利を奪ひ合ひて黨員に非ざれば之を疎外す幾多の收賄罪を釀し遂に政府の苦境と爲れり且つ憲法は議會專政に係る之何ぞ國たるを得んや今大局を人民の爲めに計る解決の方法を得るに非ずんば危急を救ふ能はず世に救國の英雄在らざるか嗣冲不敏なれども鞭を執りて後に從ふ事を希ふ今日より中央政府と關係を絕つ旨に通告す

總理を辭したる 李經羲氏

▲黎總統各總長に內訓

各省の獨立頻々として形勢頗る險惡なるを以て黎大總統は各總長を引見し軍事は王士珍擔任す卿等意を安んじて國務を鞅掌し國會と俱に勵精難艱なる國步に處し事を誤るなかれと內訓せり(北京電報)

▲結局妥協に終らん
在支外交團の觀測

今回の動亂に對し外交團側は敢へて悲觀せず民黨にして督軍連の意見を掬み一部の讓步をなさば兵火は見ずして例の通り妥協を繰返すに過ぎざるべし三十一日湯化龍氏が倪嗣冲氏を訪へるは此間の消息を意味するものなりと觀測され居れり(北京電報)

◎英佛重要案件協定

公報に曰く佛國首相リボー氏以下カムボン、ペインレブ、フラック其他外交軍事の各顧問官は五月二十八日及び二十九日英國軍事首腦者と連續的に會議を開き英佛二國に關係する重要案件に就き商議するところありたるが總ての點に完全なる協定を見た(倫敦特電)

◎朝鮮製糖拂込

朝鮮製糖會社は卅一日午前創立委員會を開き藤山雷太氏の實查報告あり六月十日乃至二十日を以て第一回の株金十二圓五十錢を拂込ましむること〻決定せり(東京特電)

◎宮入醫學博士來鮮

福岡醫科大學教授醫學博士宮入慶之助氏は一日朝さくら丸にて著釜午前十時半發列車にて京城へ向ふ(釜山特電)

◎小松綠氏來鮮

小松綠氏は夫人同伴三十一日午後十時入港關釜連絡船對馬丸にて釜山に上陸一泊の上一日午前發の列車にて京城に向ひたるが氏は夫より奉天に向ふ筈なり(釜山特電)

◎對馬教育團視察

對州各小學校長及び二郡視學一行の教育視察團員十六名は三十一日午前入港天眞丸にて釜山に上陸市內を見物したる上同日午後八時三十分出港高麗丸にて馬關に向ひたるが同地より山陽道各地九州方面を視察し歸國すべしと(釜山特電)

◎東築中學生歸校

來鮮見學中なりし福岡縣東築中學校職員生徒百十四名は三十一日午後七時釜山著當地一泊一日市內を見學し同午後八時三十分發關釜連絡船さくら丸にて歸校の途に就く(釜山特電)

◎總督邸午餐會

長谷川總督は既記の如く一日午後零時より各道慈惠醫院長會同出席者其の他の關係者等を官邸に招待午餐會を開けり

◎總督招待宴

長谷川總督は二日午後七時より總督府醫院各課長及附官並に醫學大會出席の爲め入京せる大學諸教授等を朝鮮ホテルに招待晚餐會を開く

◎總督茶菓饗應

長谷川總督は醫學大會出席者並に各關係者を三日正午より總督府醫院內に招待茶菓の饗應を爲す

◎定例長官會議

一日は定例長官會議日なるより長谷川總督山縣政務總監以下各部長官、局長、所屬官署の長等は午前十時より總督府第一會議室に參集、通常政務に就き協議打合せの上正午散會したり

漁業取締規則改正の要點

漁業取締規則一部改正の件は三十一日附府令を以て發布六月一日より施行の事となれり、其の改正中當業者と直接關係ある事項の要點を聞くに先づ第一は魚介藻類採捕期の變更なり、魚介藻類の繁殖時期を保護し又一定の生長を遂さしむるが爲稚魚介保護の目的を以て漁業令中禁止規定の現存せるは世人の熟知する處なるが、朝鮮沿岸は區域廣汎にして相互海況を異にす、從つて之に劃一的制限禁止を加ふるが如きは種々の方面に支障を免る能はず、殊に近時

▲漁業の發達に伴ひ必要なる期間の禁止を爲すと共に其の繁殖上支障あらざる限り採捕の便を與ふるは極めて必須事なるが故に、從來總督府令の禁止規定は全部削除し之に代ふるに各道令を以て各自道內沿海に適切なる禁止期間及稚魚介の程度を定めしむることとなれり、而して道令は同時に發布され又は不日發布を見る可きが、目下の操業に直接影響ある海鼠漁業の如き如何に處置さるやといふに、現行規程は六月一日より八月末までを禁止期となし居れるも改正の結果道令に依り各道多少の變更を見る可きが大體に於て期間縮少さる可く、そは兎に角六月一日以降、道令發布までは禁止解除なして操業を繼續するも妨げなし、又た第二は保護區域の擴張なり、現行免許漁業には一定の保護區を設け水産動植物の繁殖上妨害となる可き區域の

▲採捕を禁止し居れるが之れまた漁業の發展に連れ各種漁網の現出布設の實況に鑑みるに從來の保護區を以てしては不充分の嫌あるより之に對して相當の擴張を斷行せり、但し其の擴張は免許漁業の奬勵並に魚介類の保護上支障なき範圍に於て愼重調查の結果制定されたること勿論なり、第三はトロール密漁船の處罰なり、從來の密漁船は漁業者のみを處罰せしも本規程はトロール船船長をも併せ處罰する事となり且つ此の漁業規則に違反漁獲せる魚介類を販賣又は販賣の依託を受けたるものは從來に於ても

▲處罰の規程ありしが今回は更に情を知りて購買せるもの交換せるもの並に其の依託を受けたる者をも處罰することゝなれり、第四は潛水機使用の漁事は一臺を以て二人以上操業せしむることを禁じ、第五は綟子網其の他の織網地にして五寸に付き二十六目を超ゆるもの、細網地にして五寸に二十五節を超ゆるものは之が使用を禁止せり、前者は三十目、後者は三十節なりしを更に制限せしものなり

◎辭令

三十一日附を以て左の通り辭令ありたり

道慈惠醫院醫官(濟州) 石川國幹
依願免官
道慈惠醫院醫官 國見儀作
忠淸北道淸州慈惠醫院長を命す

◎慈惠院長會同(第三日)

各道慈惠醫院長會同第三日は一日午前九時より總督府第二會議室に開催出席者前日の如く宇佐美務部長官統裁の下に直に日程に入り各醫院長よりの提出意見に對して指示あり了つて事務打合せに入り正午閉會、之れにて今回の會同を終了せり

◎松下博士來京

京城の醫學大會に列席するため京都大學教授醫學博士松下禎二氏は一日午後九時著列車にて入京すべしと

◎小松綠氏入京

前總督府中樞院書記翰長兼外事課長たりし小松綠氏は卅一日夜釜山上陸同夜鐵道ホテルに一泊一日朝京釜線列車に搭乘せり同日午後九時南大門驛著入京す

◎醫學大會開催

朝鮮醫學大會は二日午前九時より總督府醫院に於て開催、總督府醫院各醫官並に大學教授、各道慈惠醫院長等の外朝鮮全道の各開業醫等參集す可く、三日も引き續き開催の筈なり

◎巡查採用試驗

今期其筋の募集せる巡查應募者は約三百八十名にして六月一日練習所に於て體格檢查を施行し次いで學科試驗を行ふ筈なるが其の採用人員は約六十人の豫定なりと

◎故友枝氏法要

故朝鮮通信社長友枝榮三郎氏三週忌法要は各新聞通信社長等の發起により二日午後二時龍山瑞龍寺に於て營まるゝ由

◎張勳調停せん
時局解決の曙光見ゆ

黎總統は張勳氏が兵を率ひて入京し時局の調停を圖らんとするの提議を認許したり之にて時局は解決の曙光を見たるものと觀察さる||一日午前三時發||北京特電)

◎支那問題長時間密議

寺內首相大島陸相上原參謀總長は三十一日首相官邸に於て支那問題に就き長時間の密議を凝せり(東京電報)

▲本野外相の伏奏

本野外相は三十一日林公使より發したる提文の電報を披見したる後參內し電文の內容に就き奏上する所ありたり(東京電報)

候補歷訪

京城學校組合議員の選擧期日も愈々迫つた、候補者と名乘つて打つて出た人も差當り二十餘名、思ひ思ひの運動方法を凝らして、誰れ中の鹿を我手に射止めんず意氣込は凄じいなんぞ言ふ許なく選擧界今や次第に殺氣立つて來た、抑も如何なる結果を呈すべきか、恐らく今回の角逐戰はクロッスゲームを見るであらう。いでや候補の面々の本陣を突いて其の陣容を寫はむ

✕淸水潔君

高等法院の書記長室、ガラス窓の外に散り行く柳絮を眺めつゝ初老に近い候補者の淸水君は九州訛りで語る『エライ競爭になりさうですな、ハヽア形勢はどうです』と候補者だけに逐鹿狀況には大分興味を持つて居る『眞正面から君の抱負は識見は』官僚だね……などと六ケしい質問を先日も出されたが、學校組合議員は天下國家を論ずるではなし、教育に關係を持つと云ふ極めて狹いものだから、さうした八釜ましい事を云はなくてもよいでせう、私は元來教育には若干趣味も持つてゐるから若し議員に出れたら眞面目に忠實に父兄の總代たる責を盡して行きたいと思ひます「私が出たのは此の司法部內から誰れか一人出さうと云ふ事になつた時、檢事は法規上不可ず、判事も出るに出れぬ事はないが餘り穩かであるまいと云ふやうな所からまあ普通の事務を執つてゐる私にお鉢が廻つたのです、投票は司法部系統を主としてゐますが、監獄の看守諸氏の如きは職務上投票の出來ぬ事情もあり、法院の諸氏も勤續一年未滿の人少なからず、存外票數は多くないから餘り安心は出來ない、法院外では同鄕人とか、弓友達、釣友達と云つた風の所に若干の得票はありませう』云々、語り行く內に捌けた凝滯しない人だと云ふ感じを與へらる

✕大和與二郎君

『仲々樂觀は出來ませんが……』と、新龍山の候補者として知られた大和君は語る『新龍山からは不肖ながら拙者、舊龍山からは村君が起つ事に略きまりました、龍山の有權者が九割迄結束して龍山の候補を出して呉るれば民間から結構三人は出れますけれど、それはどうも危ない點が多いので結局二人と云ふ事に落ちませう、新龍山は鐵道と軍を除き約三百近くある、京城候補の切込みが激しいので、それに京城の學董はドシ/\今後も殖えるのだから學校の建設と云ふ事も必要になり組合員の組合費負擔は將來決して減る事はありますまい、然るに餘り近來組合費の賦課が重くなると云ふので龍山市民中、拙者等の良くないためなど云ふ人もあり弱つてゐます、かうした人に府內の大勢を說き投票を賴む事も仲々骨ですよ、鐵道から若干票數が貰へやうつて?仲々さう旨くは行きません』云々……と出れると云ふ自信は其のニコ/\した面に現はれてゐる

✕曾我勉君

本町郵便所長の曾我勉君は帷幄の內に策戰を運らしながら語つて『どうも遠藤さんが立つたので私しや大變に目的が外れて終つた此の前當選した時は本局の局長を始め遞信局から大變に勸められて立つたので從つて遞信局の中から纏つた點を得ましたが遠藤さんの起つたので先づ百票は違ひます 然し乘りかけた船で今更引く譯にも行かず新たに計畫を立て直した處です 私は三丁目四丁目を根據として三丁目から百票四丁目から五十票は得る考です 櫻井町へは小杉氏が切込んで居るから餘り手を付けません、山口氏が立つと云ふ噂ですが事實とすれば自分は此の方面にも聊か遠慮を爲なければならぬ』(と聽く打傾じ)何にしても役人から七人の候補が立つたのは多過ぎる此の七人が全部當選したとすれば會議は何時も役人が過半數を占めるに相違ない何故なれば町の人は用事が多くて大概缺席するが役人なら殆ど缺席なしに出られる 其の上どうしても斯う云ふ土地柄だけに役人の勢力が強いから弦は一番民間候補者の奮闘努力を要する所です

✕福田源一君

京城地方法院『一體貴公は半官半民と云ふ風の職に居るが何方らか』と尋ねると仕事をしたり叱られる時だけは官吏で平常は町內の良民です事から臨時土地調查局事務官に轉じた福田候補は久しい前から南鮮に出張中だ、推薦の張本人和田總務課長を代理格として狀況を語らせる、曰く『調查局に△百△十票の有權者がゐる、結構一人は出せる、併し今までは曾て出した事はない、今回は調查局も終りに近づき最終の選擧だから何人か出さうと云ふ事になつて福田君を持上げたのです、尤も御本人は全州方面に出張してゐるので僕が再三再四電報を打ち其の出馬を促した所、初めはイヤだと云つてゐたが、漸く納得した、本人は選擧前後に歸ります、福田君は體量二十貫堂々たる風采を有し、一寸此點で靑木戒三君に對抗が出來る、頭も鋭いし眞面目で、教育にも趣味を持つてゐる立派な議員だよ、……內部は出るに十分だらうと思ふが、……投票で樂觀はしない、樂觀すると、外に飛んで行つちもうからな……御本人は旅にゐて一向選擧運動に突き出さぬ。それで結構出れば理想選擧でせう』左樣外部に……を出さぬ事になつてゐるが、あの人だから若干の票數は集まるだ……

芙江

▲金融組合設立 芙江に於ては其の筋の認可を得て金融組合を設置する事に決し既に敷地の選定を終り不日家屋の新築に著手する筈なりと▲根津氏の寄附 今般忠北輕便鐵道會社創立の要件を帶びて芙江に下車したる根津嘉一郎氏は芙江尋常高等小學校及び私立鮮人學校へ各金二十圓宛を寄附したり▲有志の歸芙 滿州に於ける根津嘉一郎室田義文氏歡迎會に列席したる芙江の有志吉原治三郎、市橋慶之亮、松本辰吉、江本禎三、高桑鉤、尾崎榮三郎其他の諸氏は三十一日午後根津氏等一行を鳥致院に送り同日歸芙せり

晉州

▲甲斐院長上府 晉州慈惠醫院長甲斐四郎氏は院長會議參列の爲め橋本書記を隨へ二十六日出發上府したり▲米の逆輸入 既報せし如く米穀の缺乏にて米價は日々騰貴し鮮氏は頗ぶる困難を來しつゝあるが昨今は碎米や外國米の逆輸入ありて遠く安義方面へも輸送し居る狀態なり▲生牛騰貴と取引 昨年末より生牛は俄然騰貴し漸次高價となるに從つて取引も殆んど皆無の狀態なるが今又農繁時に向ひしより稍々取引も行はるゝも益々高價なるより自然取引も減退するの有樣にして下落の模樣更に見ゑず

仁川

▲第一大隊行軍 龍山步兵第七十九聯隊第一大隊將校以下四百七十八名は一日午後二時來仁同夜は仁川宿營の筈にて本部は平山松太郎方中隊本部は高木、鈴木、村谷方にて二日早朝龍山に向け出發すべし▲諏訪支店長大阪行 大阪商船諏訪仁川支店長は一日仁川發大阪に向け出發豫定は二週間位なる可しと▲下科婦人科主任新任 仁川病院にては今回下科婦人科主任として張弁水卿氏を招聘したり▲和田書記長出張 和田友太郎氏は一週間の豫定を以て西鮮地方に出張すべく二日午前七時出發の筈なるが用向きは燐寸會社分工場設立其他に關する者なりと

人事消息

▲岡田茂輔氏(專賣課技師) 五月三十一日附滿州へ出張を命ぜらる
▲佐藤修二氏(土木技師) 同日附滿州へ
▲大島源一氏(土木技師) 同日附開成郡へ
▲八島明氏(土木技師) 同日附任實郡へ
▲立川百太郎氏(平壤中等教員試驗委員を囑託する)
▲入京陸軍大佐方へ
▲佐々木忠實二氏(慶北道參與官) 一日朝入京
▲松木彬氏(商議家) 同上
▲竹內懋三郎氏(久原鑛業會社技師) 同上

◆更衣の巡査 「六月に入つた……」といふ一種の壓迫を覺ゆるやうな感じを抱いて、日盛りの市中を歩いてゐると、此の日から全く白服と衣更へした巡査が涼しさうに立つてゐるのが特に眼を惹く、町はづれの交番の脇に繁つてゐるアカシアの下に佇んでゐるなどは却々風流なものであるとも思はれる(一日午後一時太平通りにて)

◉現金七萬圓積載の輸送馬車を襲ひ護衛警官外六名を殺傷したる九人組兇賊首魁就縛

二千圓の懸賞金附犯人

朝鮮に於ける近來の大事件として社會の耳目を聳動したる平北碧潼郡八院面楓頭洞にて昨年十月六日午後三時頃雲山東洋金鑛株式會社の現金七萬圓を積載せる輸送馬車を襲撃發砲して西岡巡査外六名を殺傷したる九人組兇賊の内

◆其の巨魁二名は 此程遂に逮捕されたり一名は平南順川郡豊山面生れの金聖善(三八)にして五月十二日平壤竹與里娼家金永龍方に潜伏中を平壤署刑事中村光太郎中村貞三郎の兩名にて捕縛したり事件發生と共に警務總監部にては各道警務部に手配して犯人嚴探中殊に平安北道警務部にては爾來憲兵及び補助員等

◆變裝して搜索中 なりしが五月二十五日午後十時頃遂に總首魁なる黄海道平山郡生れの李碩大事李鐘龍(三七)を逮捕し目下呂城憲兵分隊の手にて取調べ中なるが同人は併合前後黄海道平山郡谷山郡を根據として附近數道に亙りて横行兇暴を逞ふしたる所謂平山暴徒の總首魁にして一昨年黄海道にて檢擧されたる賊魁韓貞勳の如きは

◆鐘龍配下の一部將 なりしと其後暴徒の大部分は一掃されたるより同人は李碩大と變名して巧みに姿を晦まし對岸支那地に潜伏しゐたるものにして彼の輸送馬車を邀撃したる際も同人が指揮の下に何れも火繩銃を以て件の兇行を演じたる次第なりしと然るに金鑛會社にては本年二月初め二千圓の懸賞金を提供し五月末日迄に一部にても賊を逮捕したる者には内一千五百圓を與ふる旨發表したる次第なりと

◉啞者の掏摸

京城大觀里生れの啞者崔順吉(二八)は竊盜前科二犯あり掏摸を常習として徘徊中五月二十一日夜黄金遊園にて永樂町二丁目若松太一郎より現金三十八錢を掏り取り二十七日夕刻本町三丁目路上にて郵便配達夫某のポケットに手を突き込みたる所を同人に取押へられ本町署に突き出されたるが啞のことゝて取調べに困りたりと

◉鬼の様な母親

全北全州郡亂田面院堂里勞働金京汝方同居李姓女(四〇)といふ寡婦は攣軍宋某と不義を爲し居たるが昨年女兒を分娩し養育中生活難と世間態とを恥ぢ件の女兒(三)を殺害せんと企て本年舊三月二十八日主家京汝の長女伯同(一六)に金八十錢を交付するより女兒を殺害し呉れと依賴し伯同は之れを承諾し直ちに幼兒の口に布片を押込みて窒息死に至らしめて疑獄を密葬したることが發覺し兩名は廿四日全州署の手に逮捕され目下取調べ中

◉聯合撞球大會 友石氏の審判にて大正倶樂部に

撞球界の名手友石武男氏の滯京を機とし第五回京城倶樂部聯合撞球競技大會を來る六月三日午前九時より大正倶樂部に於て開催することゝなれり當日參加倶樂部は大正、會洞、倭城、鐵道、東拓、鮮銀等の各倶樂部にして例により各倶樂部の選手五名を一組とし交互競技をなすべく尚當日は名手友石氏の審判によることなれば定めて盛況を呈することなるべし

◉大隈侯怪漢に附纏はる

大隈侯歸京の途中神戸より大阪迄一人の怪漢侯に附纏ひたる由にて嚴戒物々しかりきと(東京電報)

◉衝突して氣絶

二十九日午後八時十分頃京城電氣株式會社の義州通行九十六號電車が光化門郵便局前を進行中五十歳位の鮮人が孫らしき女兒一名を連れ線路を横斷せんとして電車の昇降臺に觸れて老人は氣絶したるより應急手當を加へしが住所氏名等不詳にて鍾路署にて取調べ中なり

◉亂暴な鮮婦人

慶北軍威郡孝令面梧川洞居住の酒類販賣業金鳳大は大正五年度第一期酒税一圓八十九錢及び同督促手數料を滯納し數回督促するも納入せざるより同郡廳にては去る二十六日砂野郡書記を派し差押をなさしむる事となりて金方に出張し差押をなさんとしたるに同人の妻朴德夫(三七)は砂野郡書記に組みつき暴行を加へ差押の防害を加へたる上同郡書記のズボンまで引き裂きたるより止むなく此旨を孝令憲兵派遣所に屆け出で憲兵出張して同女を引致したり

◉幼兒殺し

全北茂朱郡雲川面三公里張瀧澤養母白洛伊(四七)は昨年六月私生兒を分娩したるが寡婦の事とて世人の風評に恥ぢ先頃該兒を蒲團に包み窒息死に到らしめしこと此程發覺し洛伊は二十四日錦山分隊の手に捕へられ目下取調べ中

◉微笑して遷化せる近松尊定師

本山にては未だ喪を發表せず

頃日來危篤を傳へられたる本派本願寺管長代理近松尊定師は三十一日午前十一時二十五分遂に遷化したるも本山にては未だ喪を發表せず遺骸は三十一日夜大阪より

遷化せる近松尊定師

▲河内顯正寺に 送られ同寺にて密葬し改めて本山にて葬儀執行せらる可し管長代理後任に就ては一日夜連枝顧問の會議を開き大谷尊由師を推薦するならん同師固辭せば藤枝澤通大谷昭道を擧ぐるやも知れず近松師は臨終に際し一聯の珠數を掛けたる

▲手を靜かに胸 のあたりに合掌し看護の爽方令孃を顧み微笑して眠るが如く逝けり(大阪特電)

◉西湖の鮒

島津男一行の舟遊 ○○何うして名物となつたか○○

水原の西湖の油繪のやうに美しい此のごろの若芽は湖畔の新緑が水にうつツて麗妓山の松の花も抗眉亭の倒影も水原ならでは見られぬ眺めである、殊に憙き

▽四十町歩の 湖水にはむかしから種々な魚鱗が居て大きな湖水の主のやうな『カムルチ魚』から鯉、鮒なんぞ夥しく居る、殊に西湖の鮒は朝鮮の人に貴ばれむかしから一ツの藥用として珍重されて居る、現に曾て李完用伯の遭難の時にも嚴冬の堅氷を碎いて鮒を探した程で鮒は模範場の鑑方でやう／＼手に入つたが伯は

▽鮒のおかげ で治つたと信じて居るとか……それに面白いことには此湖の鮒を內地の滋賀縣に送り先方からまた琵琶湖の『げんごらうぶな』と交換したところ二つは全く同種の『金鮒』といふのであつた、朝鮮でも此の鮒の居るのは西湖ばかりといふことで鮒だけは此の湖の名物、中には二三尺のものも

▽鯛魚ぐらゐ のものも尠なくない『金鮒』は全く鯛魚そつくりの形である、三十日の夕方、島津長丸男の一行を此所に案內した模範場長の本田博士は船を湖心に浮べながら『深いところは二丈二尺から三丈ある』との說明であつた、折から麗妓山には雉い柔かな感じの松山の聲が聞てゐたが、子の聲や鳩のなき聲が聞ふたぬにつけ船を竹の簀のやうに圍ふた魚につけて網ですくうと見る間に數尾の鮒がハネあがつた、それに

▽大きな斑點 のある黑いヌル／＼した怪物が『カムルチ』といふのでこれは日本內地には居ないけれども支那から馬來半島にかけて何處にも居る魚だといふ、湖では今鮒の繁殖につとめて居るが折角の魚も『カムルチ』が友喰ひして困るさうだ序に鳥は八幡の數知らず式で冬になると鴨の類まで生擒にされるといふと、遙か鐵道線路のあたりに帆船のやうなものが泛んで居たから何かと見ればそれは鮒釣り鮮人の釣場であつた

讀者文藝 (一等に五十錢薄謝券を呈す)

△謎『財産』と掛けて

○相性と解く心は土と金がよい(一等) 大邱府梅岡町 水

△指の爪と解く心は(飲)過すぎもある 仁川 しず子

△肌守と解く心は不動さん(淺)もある 龍山 朴念仁

△娘の嫁入先と解く心は多い程少い 京城 朝子

△ベツドと解く心は寢臺(身代)とも云ふ 京城 操

本紙連載小說 過去の罪梗概

‖黄金舘にて上演する‖

北海道小樽地方に保食といふ哀れな一家があつた、母親お霜は病苦に窶れて將に息を引き取らうとする時に方つて二人より無い

◻兄弟の內 の兄勝男に向つて『生れつき纎弱く出來てゐる弟の眞楠をば妾に代つて面倒を見てお呉れ』と遺言して絕息した、折柄不在中であつた眞楠は何處から求めて來たものか身分不相應な外套を著て歸つて來た、是れを見た勝男は『斯ういふものを何處から持つて來たか』とその出所について

◻詰責した が眞楠は『日頃英語敎のため出入する人から貰ひ受けたものです』と答へたのでそのまゝに捨ておいたところ、その後眞楠が病氣のため倒れたので貧困のため勝男は金策に窮して外套を入質したところ、意外にも例の外套は竊盜品であつたことが知れたが母より臨終の際に呉々も依賴された事があつたので眞楠の

◻身替りこ して處刑を受けた、その後勝男が出獄すると丁度眞楠はそのまゝ慈善病院に入院させて肺病も全快してゐた處であつたので、兩人は協議の上東京へ出る事となり、勝男は或カフエーの給仕を勤め內一日某銀行の頭取安村喜作が惡漢のために盜難に遭ふ所へ行き合せて

◻之れを救 けたのが緣となつて安村に見込まれ銀行に用ひられると共に弟の眞楠も安村の證力に依り英語の敎授所を開き貴婦人令孃に敎授する內鴨川博士に頗る愛せられその令孃明子と相愛の仲となり、事好都合に運んでゐたが茲に一つ困つた事が出來たといふのは勝男の身の上に安村銀行が北海道の函館に支店を置く事となり同人がその

◻支店長に 擧げられようとする時同地の某から匿名の投書があつて勝男の前科者なる事を安村頭取に密告して來たので勝男が折角の榮達も水の泡となり遂に免職される事になつたが勝男は安村及び娘の露子には頗る同情があつたので陰ながら庇護されてゐた、然るに之れに反して弟の眞楠は

◻早熟して 鴨川博士の娘明子と華燭の典を擧げて子まで儲くるに至つた一方落魄した勝男には安村露子が思を寄せて何くれとなく親切にするのを兼ねてから露子に戀慕してゐた銀行員の南野鹿太郞といふのが付け覘つて薄命の勝男を苦しめやうとする、此の時に安村親子鴨川明子の同情が現はれ、遂ひに

◻南野が怨 と放つた一發の銃丸誤まつて命中した弟眞楠が良心の苛責に堪へず病院に於いて臨終の際懺悔して絕命したために之までの事情が一切明白になつて勝男の潔白は證明され勝男は最後の勝利者となつて安村の娘露子と結婚し繼續の南野は悔悟して自殺した

◉毒蛇に嚙まる

咸南文川郡內雲林面德坪里鄭姓女(三)は此程後方の山野に草根採取中右足先を毒蛇に嚙まれ中毒を來し股より下方は紫色に腫れ上り生命危篤なりと

◉書籍研究、募集

[illegible]

●愚民を欺く 慶北漆谷郡[illegible]占ふべしと愚民を惑はし同郡逸川面[illegible]外一名より金員を騙取

●連絡船上陸客 五月三十一日 三等二百三十九名 五月三十日午後九時三十分釜山入港[illegible] 五月卅一日午後釜山入港對馬丸[illegible]

(課題)(募集規定)

■募集規程 ▲用紙は端書又は同形の洋紙一枚毎に紙上の雅號又は本名の外に住所氏名明記の事 ▲[illegible]

天氣 くもり 晴れ

商況

東京公債直取引(特電) 三十一日出來値

五分特別	九七、九〇
五分利	｜
一回四分	｜
二回四分	｜
甲號五分	九七、七〇

深川正米特電 三十一日現在高

湖南米	一四八、三三八
[illegible]	四九、四三三
內地米	一、七二三、七四二

東京期米特電 三十一日前場 八月限

	前場	後場
寄付	二〇、〇〇	｜
高値	二〇、〇〇	｜
安値	一九、九〇	｜
止め	一九、九四	｜

大阪株式

類	前場引	三十一日前場	後場引
宇治川水	[illegible]	[illegible]	｜
京阪電鐵	[illegible]	[illegible]	｜
東洋紡績	[illegible]	[illegible]	｜
合同紡績	[illegible]	[illegible]	｜
鐘淵紡績	[illegible]	[illegible]	｜
同上新株	[illegible]	[illegible]	｜
東洋精糖	[illegible]	[illegible]	｜
大阪商船	[illegible]	[illegible]	｜
日本郵船	[illegible]	[illegible]	｜
同上新株	[illegible]	[illegible]	｜
堂島米穀	[illegible]	[illegible]	｜
東京新株	[illegible]	[illegible]	｜
大阪株式	[illegible]	[illegible]	｜

大阪期米特電 一日前場

	寄付	止め
當限	二〇、〇四	一九、八五
中限	二〇、六九	二〇、五〇
先限	二〇、八七	二一、一三〇

下關期米特電 一日前場 正米高

	中限	先限
寄付	[illegible]	[illegible]
止め	[illegible]	[illegible]

雜報

◉北海小豆小戻り

去月二十八日七圓八十錢迄落ちたる北海小豆は本一日に到り買物なし值八圓八十錢高見込との入電ありたり

◉燐寸活氣付

燐寸は[illegible]の餘波を蒙むり生產減の止むなき狀態に陷り大製造家にして尙且つ減額し小製造家は休止若しくは廢業の決意を爲しつゝありしが前年に迷れ兎角軟味を脫せざりし鮮內[illegible]の需要界の不振狀態に陷りし取扱業者は其後警戒怠らず本年の如き必要に應じて移入を試むるのみなりしが前年の

思惑失敗に了りし結果 餘分の持品

[illegible]

積出し遲延

[illegible]

約二圓近の暴騰

[illegible]

◉牛皮益々不味

[illegible]ありて今日に至り尚ほ投受履行の運びに至らず本邦皮革業者中之が加工品を掬し困窮せる向少なからず爲めに此品中轉用せらるべきものは內地向に再製さるゝなど之が原料となるべき牛皮中物は漸次不勝の趨勢を辿るの止むなきに至りしが一方米國製皮及生地皮の如き本國高と輸入杜絕の影響を受け一時甲皮類の連日昂騰せしより之が原皮たる輕目物又強硬にして用廻り薄なる旁用品著しく割高に上りしが最近甲皮類の賣行き閑散時期に近づきたると値高に伴ひ產出增加せし爲め俄々在品豐富となりたれば原皮の需要漸切減じたるに從ひ入氣次第に軟弱に傾き初めたり

◉貨車濫ミ運賃 (鐵道) 賃率も引き上ぐ

當局は近々共運賃率を改正せむ意向なる由其內容は未だ詳ならざれど特定運賃率及各港間の賃率を引き上ぐる事丈は確かにて此他幾分改正はあらむ模樣なるが其輸送狀態を眺れば內地仕向け滯貨漸く疏通しつゝあるに反して鮮內の輸送力不足し京義線大口貨物の如きは積込み得ずして野天晒しとなるもの日々增加しつゝあり荷主の當惑一方ならざる由一般取引の上に影響少なからず

㊐ 仁川米豆取引所仲買人 まるにち 仲買店 電話 二八三番 二二八番

◉刷子業近況

內地刷子業が北年異常の發達を遂げて遂に年額數百萬圓の重要輸出品なるに到りしにも鮮內に於ける同業は依然不振の狀態にて今日なほ原毛の選擇さへ出來ずして雜毛のまゝにて內地に移出さるゝに過ぎずして厭々企業の聲立ちたるも實行されぬのみか從來の內地同業界と遂行せる觀ありこれ諸材料の不備と工手不馴れに工賃高きためにて悲觀の外なきも其後小規模一二の製造行はれて製品も弗々市中に出廻りて氣受けよく且つ多少の注文生じたる模樣にて稍や復活せる傾あり品は毛カヤ等何れも安物類にて內地品に比して遜色なきが如きも何分製造高少きため大口の注文に應ずる能はず陳床用品の如きは內地品を材料として代納し居れど市中需料手持多きは有利なる上且つ非割高なる際に乘じて地歩を占めん思わりてこゝ暫や生氣づけるもの〻如し

京城正米

前月十七日後場以來休會を繼續しつゝありし仁川期米は昨三十一日總解合成立し今新市の發會を機として微々立會開始する事となりしが今前場の大阪人氣は中當二十圓六十九錢新市二十圓八十錢を眼して中限さの釣合に小中限の小安さに反し新市は遂に二十八錢の上稍に述れしが後に至り一圓三錢の臨時暴騰の入電を齎らせり一方仁川市場は十七日前止十五圓三十五錢を名殘りとして休會中なりしが大阪期米の暴騰に述れて休會中買氣殆々加はり正相場暴騰の際に當つて總解合ひ條銭なくされしも買方は今新市の立會に臨み大阪高に乘じて喰ひ頻り新市寄付十七圓八十錢と休會前の止め値より二圓四十五丁の上値に述れ後八圓濫を易々突破し遂に十九圓十六錢と寄値より百三十六丁を跳上げ後勢如何なる邊に及ぶか注意し驚き勢ひにて此一兩日來稍々人氣落付たると同市に多少目を緩やかなる正米市場も定期市場の勢に驅られ今朝は穀物全く影を潜め市場は殆ど買人のみと商內一として纏りしものなく相場は上玄十七圓九十錢內外に唱へらるゝも此處相場の模樣如何なるは突飛相場の出來まじき形勢にあり

仁川米豆取引所仲買人 仁川海岸町三丁目 ◉三巳仲買店 電話 一二一、一三一、一四一 振替口座京城四〇二

京城雜穀

正米高に連れ進みたる雜穀類は此頃やゝ頓挫の傾あれど市中鮮人向きの需用飴々多からむ模樣にて且つ品薄なれば概して氐強く保合へるが多しと大麥、收穫期近づきたるを以て食料不足を緩和し得べしと俟たるゝが各地作柄概して不良なるも苗つて唱へられし如く五六分作などの災なく三南地方一帶は既に相當の收穫見込立ちて安堵せる者多ければ之等事情知悉さるゝに從ひて人氣靜まるべしと思はるゝ今は此端境期に當りて品薄なれば高値にて大口取引は六圓見當なり

▲小麥 各地の持荷一掃されしより一齊に況上りの商狀にて昨今上石九圓八九十錢黄海道物九圓二十錢の取引値市中在荷約三千叺內外ならむ

▲粟 は產地品薄と輸出向きの關係より五月初め四平街其他各地積出し百斤四圓臺に屆きし以來漸次引き締り一方にて最近入電によれば運賃諸掛り込み市中賣値百斤六圓ならでは取引出來の由なり聊か高値に過ぐるも彼地氣配の強さを推知すべく之が遠方產地よりの輸送は約當十日を要する等故今後の輸入見越難からむかと危まるゝが市中卸值は十四圓六十錢內外なり

▲大豆 出物薄く取引閑散大口見當は依然十圓六十錢の保合ひ

▲小豆 北海道產の動搖も全く影響なく鮮人代用米向き需用多く振り高にて輸出向赤大玉は十三圓八十錢處

▲牛小豆 頻りに賤りて昨今十一圓十錢見當

▲菉 赤高値にて七圓七十錢處なるも品乏し

▲荏子 又上りて十圓二十錢見當にて

▲胡麻 產地拂底稍々強硬の成行きにて二十八圓五十錢處の唱へなり滿洲物は入荷なし

▲麩 麥粉高に連れ上りて市中强含値は二圓八十錢內外御用川變らずと

南大門の廻穀

仁川白米 二五六叺 平壤粟 二八四叺 仁川小豆 二七三叺 南浦大麥 三〇〇叺 新義州小豆 四〇叺 仁川白米 三〇〇叺 江景白米 二〇〇叺 平壤粟 二九四叺 新義州黍 一〇〇叺 仁川白米 三〇〇叺 群山白米 三三八叺 南川粟 二〇〇叺 南川白米 二〇叺 砂里院粟 八一叺 鳥山白米 四四叺

釜山穀物(一日)

▲正米(保合) 本邦大阪定期米寄付入電は又々氣丈の商狀先物二十圓メ二錢方の鞘あり今市場賣り物としては餘り潤澤ならず肝腎買望人の精米は昨頃來沿岸地方より相當白米の買注文促し來りつゝある模樣なるも船便不便の爲積出し出來難きと月末の關係上などにて一向手染めずますます見送りの商狀相場は保合のまゝ午前中玄米一千二百餘個の商談ありたり

▲大豆 賣り物としては餘り潤澤ならず本朝は無商內然して相場は變らず保合なり

總出來高二七三八個、一三六九個 玄一三六九個

定期賣買の案、御一報次第御說明可申候 田中金兵衛 電話 長 一六二八番 一五二番

生魚市場

入荷多く値又相應積出しは例の通りなる中大方魚釜山より入る日之丸市場建値左の如し

メイ一四、サワラ一〇、スズキ一〇、ヒラメ八、カレイ八、ハモ一〇、アナゴ一〇、サバ六、アヂ八、イセエビ一六、モエビ一三、ニベ六、サヨリ八、甲イカ七、ヒラセ七、タチウオ一五、フカ四、モエビ八、カニ六、メエボ六、小モノ六

釜山水產市場 三十一日

本日も相變らずサバの入魚六萬二千尾にて漁場は主として巨濟島なり入船數九十八艘 十メ目建 ▲タイ八圓 ▲大フカ五圓 アヘビ千六圓 ▲ヒラメ六圓 ▲エビ十五圓 ▲イセエビ十一圓 ▲イカ七圓 ▲メバル六圓 ハモ五圓 ▲アヂ四圓 ▲サバ二圓二十錢 ▲雜魚四圓五十錢 水揚高二千五百三十二圓三十一錢

仁川期米(立會大爆騰)

▲六月一日發會 昨東兵庫 二十圓九十一錢大阪天候昨夜前寄當 二十圓〇四錢:昨上より六十五錢高 中二十圓六十九錢と六十五錢高 新甫二十圓八十七錢と十八錢の薄鞘入電 二節九十六錢との移 中出來不申 新甫十七圓八十錢と豫報の通り

發會したるか市場は買物の外 十八圓臺に上伸 買物多く八十五錢と大奔騰 [illegible] 大阪新甫二十一圓三錢と臨時暴騰入電に遂に十九圓大關門も突破し十九圓十六錢と暴進 [illegible]げたり

市場零聞

▲發會大奔騰 天今朝大阪常中大上放れなるは十八錢と存外薄鞘の報に勝にて十七圓八十錢と人氣通りの寄付當地は前報の如く買方優勝の折柄き忽ち十八圓を突破し勝況の勢じて十八圓八十五錢と暴騰し七十錢と押したるも大阪跡高を移して十九圓を突破し十九圓十六錢と大況は久し振りの開始に買逸りの人的奔騰を演出して [illegible] は遂に十七圓八十錢より十九圓十六錢と **實に百三十六丁** の **大々的暴騰** を來したる [illegible] **此熱狂せる人氣が果して如何なる變化を來するか**

▲人氣大沸騰 [illegible] したるか人氣は買方優勢の折柄正にならんと思はしに大阪入電は當中大上放れたるも新甫は在外薄鞘を報じたり當地は十七圓八十錢を寄付し市場は買降のみにて忽ち人氣沸騰し前項の如き成行を演出し十八圓より遂に十九圓十六錢と實に大奮發つ幹り一圓三十六錢切の大沸騰を見るに至つた此處に至つて大阪との鞘二百丁を潜りたると **正米より一百丁內外の大上鞘** を示すに至り如何に人氣が買逸り居るかを知るに足るあらん併し從來の買方側は前日總解合を保ちなくしたるの場合にて市場は買方なく相場の奔騰するも寧ろ當然の成行ならんか然るに値は近年の高値十九圓臺を演出し居るの場合及如何なる有力者の買物現はれんや計 **人氣の附隨する危險** の寄りである尙大々前寄十八錢の薄鞘なりしも九節臨時電報は忽ち中先六十一錢の大鞘を報じ居り直なる商內左の如し

▲前場の手振

▲同店より賣りたる玉數一萬二千餘石買たる玉數一萬餘石
▲同店より賣りたる玉數六千餘石買たる玉數八千餘石に上りたり
▲同店より賣りたる玉數四千餘石買たる玉數八千餘石に上る
▲同店より賣りたる玉數四千餘石買たる玉數八千餘石
▲同店より賣りたる玉數七千餘石買りたる玉數二千餘石
▲同店より賣りたる玉數五千餘石買たる玉數四千餘石
▲同店より賣りたる玉數五千餘石買たる玉數三千餘石
▲同店より賣りたる玉數五千餘石買たる玉數三千餘石
▲同店より賣りたる玉數二千餘石買たる玉數千餘石
▲同店より賣りたる玉數千餘石買たる玉數千餘石

仁川米豆取引所

一日の八月限 前場

寄付	十七圓八十錢
止め	十九圓十六錢
高値	十九圓十六錢
安値	十七圓八十錢
出來高	……

十七日前場止め値 十五圓三十五錢

白米標準値

二十四圓八十錢

小賣白米

現金賣 一等白米 二十二錢 次 白 二十一錢五厘

藏は家屋の位置方面構造の如何に
あり付近方向構造の惡しきものは速
かに建て替へて家の繁榮を圖るべき
なり自分は占ひ者なれば務めに應じ
かに改造せしむべしと言ひ聞かせ十
圓乃至二三十圓の費用を投じ家の改
造をなさしめたる事發覺し同地警察
署の手に捕はれ取調を受け居れり

村庄十助、和田政一、三宅…、山井三七、三浦惠、同愛子、高橋民江、同菊江、…田鶴子、坂本つ、山田竹三郎、同ひろ子、同佐枝、同幸枝、石村ふじ、吉田九助、久…鶴藏、松下與一、山科基一、土居寬助、穴山清作、同るい、三戸全三、班崎宇助、南馬之助、矢島庄三、小宮眞次郎、田中仙太郎、米國人一名

…文夫、…國人四名、米人六名、…二等（二十六名）須藤頌大、渡邊正善、高階高清、今村庄太郎、同光惠、同松子、柴田はる、成澤金之助、同きみ、高塚いさ、同高次、相澤眞之輔、同むつ、森田靜子、保田文雄、同八千代、同榮子、附富安左衞門、飯田芳朗、劉竹久、同紀智、石井…

一等（五名）…十八名…小松…二等（十三名）…石川…次郎、長枝喜貫、米國人四名
三等（六十…名）

▲…　同四日　同五日　同六日　同七日　同八日
▲俗謠「…」　▲川柳「口」　▲物は付「重いものは」　▲謎「活動寫眞と掛けて」
▲右表後一週間以內に割切又は同案發見通告者には五十錢書籍券を呈す（但…）▲宛名は京城日報編輯局懸賞文藝係

◉二千噸の木造船を六箇月間で

未曾有の巨船の起工＝總工費六十七萬圓

▽誇るに足るべき造船界の進歩

歐洲戰亂の一度突發して以來何んと云つてもイの一番にその恩澤を受けて色めき立つたのは海運界、持船の暴騰、貨船料の突飛運賃の値上げと萬遍なく踊ひて平常は禁句ながら宛で黃金の狂瀾怒濤がドツト押し寄せて來た騷ぎ、それで一方には鐵相場の激騰、造船所の大多忙にて新規注文拒絕と云つた譯で唯さへ

▲船腹不足を　告げて居る現今の海運界が愈多忙に凄じい景氣、斯うなると一艘でも餘分に、一日でも速かに船を手に入れることが出來れば、それだけ大儲けをすることになる、何にせよ此の海運界の急激なる發展とそれに對する要求とに促進されて近來の我造船界の進歩と云ふものには實に驚くべきものがある、大阪西區今木町岡本造船所にて目下建造中の木造船

▲第六萬盛丸　は實に二千噸を有し全長二百四十五呎、幅員三十五呎、深さ二十一呎、速力十一節、二本檣で汽鑵二個を設備して居るなど我國木造船としては總ての點に記錄を破つて居るのは寔に我造船術の長大足の進歩を示したるものにて大に誇るべく、同船の起工は今春二月で進水式は來る七月上旬全部の竣工を見るは八月下旬と僅々六箇月間に斯かる巨船を手際好く造り上げるなぞは

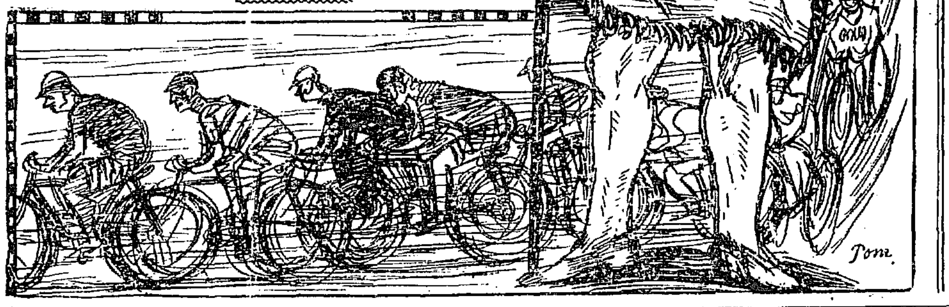
▲全く奇蹟と　云つて可い位である、往昔は千石船を最大限度として孜々營々長歲月を要し、降つて五年前にも猶且つ七百噸を最大記錄とされて居たのが數に千百九十噸の第九宴海丸が昨年六月に起工本月に竣工し既に門司、鎭南浦の處女航海も頗る好成績を擧げたるに大に力を得、此の未曾有の巨船の起工を見たるものにて

▲同造船所主　岡本永之助氏は『宴の宴海丸も此の萬盛丸も共に東京海運業中村萬之助氏の註文です、私方は明治二十五年の創業で從來隨分大船をのみ扱つて來ましたが今度のやうな船は木造としては造船術の規定（千四百噸）を拔いたと云ふ事に苦心と而して誇があるのです而して此巨船の設計から建造萬端に從事して居るのが彼の工學博士や學士と云つた鹿爪らしき技師が一人もなく、何れも

▲多年の經驗　と研究を積んで來た賜に依つて造り上げたのです、船材は、檜、松、臺灣檜へ防腐劑を施したもので產地は重に日向それから山陰、土佐方面からも蒐集して居ます、鐵材と木材の長所短所は鐵船なれば造船には一年六箇月間も要すに、其の三分の一の日子即ち六箇月で竣工を見ると云ふが目下の如く船腹不足の折柄、何よりの長所でそれに

▲船齡も鐵と　變りなく三十五年乃至四十年は大丈夫です、總工費は鐵の一噸五百五十圓替に比し此船は六十七萬五千圓になる勘定ですから、五十圓とホンの百圓位の差で、短所は鐵ならば船壁二寸五分位なるに木は厚さ二尺と約八倍にあり重量が二倍も増加する爲積荷にそれだけ減ずることになります當造船所も近き將來には必ず四千噸位までは建設することが出來る自信が充分あります』と語つて居た、普通の造船所ならば鐵槌の音、リベットのかしめる響に慌しき喧囂を極むる船渠も此處ばかりは遺に丁々と

▫手斧の音も　長閑に聞かれて居るが橫たはれる巨鯨の如き大船が近く進水を見んなど人工の力の程が驚歎され宛るで夢のやうなる心地で眺められた（大阪）



◆六月三日（日曜日）於訓鍊院
◆競走參加選手の申込百餘名

全鮮自轉車大會

◆午前は豫選午後は責任競技
◆各選手は既に練習に熱中す

主催　京城日報社　毎日申報社

◇涼風を追うて　伏見より嵯峨へ

◇青い山碧い川の間を青い風に送られて電車は伏見に著く、久々桃山御陵に詣で山の端から見渡すと城南一帶の地は濃い綠りの色に包まれてゐる、山裾の茶園は葭簀の蓋ひが一面に蔽がつて時候柄茶摘歌も洩れて來る、初夏の田園は胸に浸み透ほるやうな情趣に滿ちてゐる、美人に手を握られたやうな感じのするのは今日此頃の野の趣味である

◇深草邊まで少し歩いて見る、京都市も可なり膨脹したけれどこの邊は未だ古い街道の趣きが殘つて居る、幼い頃非常な好奇心を抱いて連れられて行つた雀のお宿が依然として未だ藪籔を存して殘つてある、深草一本松西入る蒲團屋の家がそれだ、幼い頃見た雀のお宿は藪の竹で作つた形面白い籠を置いてゐたと思ふが今は代が變つてゐる。

◇しかし雀のお宿は矢張雀のお宿で臺所の屋根裏から軒のあたりに大小百餘の穴のある籠が吊られて雀府が一杯詰まつてある、これが悉く雀の巣で數百羽の雀が絕えず出入してゐる、此頃は卵を抱いてゐるのだそうだ、この雀の巣の籠草に西園寺侯の息や、德川侯男、伊藤博邦公爵、島津公、大森鍾一男なぞの名が書いてあるのは見に來た記念である、外國人の署名もある、古いのは五十年以前のものがある、お伽噺を話して見るやうで行燈の物語も思はれる。

◇最寄から又電車に乘つて京に入る、鴨川には鮎釣りが竿を擔いで大分出はじめた、其處此處の溜りに太公望が黒くなつてゐるのも見ゐる、東山は青葉若葉で水彩畫の繪具を盛り上げたやうだ、四條で乘換へ市電を大宮で捨て嵯峨へ行く。

◇天龍寺塔中寶篋院は小楠公首塚のある處で神戸の川崎芳太郎氏が私財を抛ち岐阜多治見の明治天皇行在所を移して本堂とし再建を企てた事は疑きに記したが、今や工成り今日は其入佛式である、川崎造船所秘書永留小太郎が京都の一書店で山鹿素行の楠正成に關する稀代の珍書を發見した事も當時記して置たが、今回木版刷複本一萬部を寶篋院へ寄附し堂宇保存費の一部に充てる事となつた、そうして複本は　兩陛下を初め奉り各皇族軍人教育家へも獻本配贈した、我帝室中心の國家觀念が次第に淡からんとする折柄、誠忠無二の楠公父子の記臆を新たにする事は緊要な事である、其點から云へば偉大な美擧である。

◇小楠公の塚は美しく淸掃された明治二十四年時の知事北垣氏が谷鐵臣翁と相謀り建設した塚側の欽忠碑も目に立つ、先年明治大帝より厚き思召に依り若干の御下賜金があつて

や、草葺の舊觀を改めたけれど、堂塔までは建立が出來なかつた、それが川崎氏の力で立派に再建され、由緒ある古跡は永久に光榮ある歷史と共に遺るのである。

◇此日入佛の儀儀に稚子の行列あり墓前には高木管長の拈香法語木内知事代理其他の祭文朗讀入佛式等あり正午天龍方丈にて施齋あり午後一時より記念講演會に移り、川崎氏の開會の辭今泉定助伊豆少將の講演、餘興として吉備舞樂櫻井訣別の曲が奏ぜられ本山天龍寺では寶物を開放拜觀を許した、

◇この日の嵯峨は儀儀と共に賑ふた、若楓に風薫る嵐峽は錦繪の繪のやうに美しく飾りに平凡である、嵐山の新綠と並び呼ばれた化し野の露は寂しく…は鳥邊山の…の歷史である、…嵯峨の風物こそ寧ろ有情の時の…人が興華な映るものが多からう、初夏の日和に長く大堰へ歸つても未だ日は明かかつた。（大阪にて青葉生）

◉白米小賣商組合が出來た

從來仁川には貿易商間には穀物協會があつて商取引上の改善當業者間の親睦を計りつゝ有るが、白米小賣商間には斯樣な機關がなかつた爲め品質及び相場の不統一

◆不正桝の使用　等甚しい弊害があつて一般需要者間には批難が少くなかつたから、今回二三の同業者が奔走して白米小賣商組合なる者を組織して協會內に事務所を設置する事となつた、同會の規約に依ると、販賣する白米の等級は手撰石振特等米と一等二等の三階級で一升に付金五厘宛の差とし販賣價格は玄米價格一石に付五十錢以上の變動ある毎に

◆隨時改定する　と言ふのであるから從來の樣に大勢に伴はぬ無茶な小賣値は現はれず價格表も改定毎に表示廣告すると言ふから需要者に取つては甚だ結構な事と言はねばならぬ次に組合員の自衛手段として時は顧客にして代金を支拂はぬ者ある時は各組合員に通告して絕對的に販賣を停止すると云ふから手厳しい次第であるが其代り組合員にして

◆斗棒を用ひず　手搔きを以て桝目を胡麻化したり、相場を動搖させる樣な行爲があつてはならぬ、桝は必ず官憲の檢査を受けたる者を使用し且つ毎月一回以上洗滌すべしとあるから若し本規約にして守られたらば組合として意義ある理で恰も米價暴騰して當業者が動もすれば西貢米などを混入したる折柄頗る慶ばしい事である

◆組合が出來た　事は甚だ慶ばしい事である組合長は今井嘉三君副組合長は八浪虎吉君會計主任には平山松太郎君が選ばれ此外に評議員が五名ある（仁川）

公告　京城地方法院

左ノ不動産ヲ左ノ日時ニ競賣ニ附ス入札保證金ハ申出額ノ十分ノ一トス

●京城府寬勳洞貳番地
一、垈參拾七坪
最低競賣價額金八百圓也
右競賣申立人　中野權六
不動産所有者　申泰峻

●京城府寬勳洞百拾六番地
一、垈參拾七坪
最低競賣價額金六百六拾六圓也
一、地上ニ建設
一、木造瓦葺平家建本家壹棟
此建坪拾五坪五合參勺
此附屬木造草葺平家建壹棟
此建坪貳坪七合壹才
最低競賣價額金九拾五圓也
右競賣申立人　金洪漢
不動産所有者　朴秀景

●京城府蓮建洞貳百七拾七番地
一、垈六拾貳坪
最低競賣價額金壹百四拾貳圓也
一、地上ニ建設
一、木造草葺平家建本家壹棟
此建坪拾七坪七合壹勺
最低競賣價額金七拾六圓也
右競賣申立人　咸聖賢
不動産所有者　河貞淳

●京城府崇四洞參拾參番地
一、垈六拾八坪
最低競賣價額金八拾貳圓也
一、地上ニ建設
一、木造草葺平家建本家壹棟
此建坪四坪七合七勺
此附屬木造草葺平家建壹棟
此建坪貳坪八合四勺
最低競賣價額金四拾壹圓五拾錢也
右競賣申立人　黃河一
不動産所有者　韓東協

●京城府…洞七拾貳番地
一、垈參拾七坪
最低競賣價額金五拾五圓五拾錢也
一、地上ニ建設
一、木造草葺平家建本家壹棟
此建坪八坪七合
最低競賣價額金拾六圓五拾錢也
右競賣申立人　陳興錫
不動産所有者　金壽得

●京城府嘉會洞百拾七番地
一、垈拾五坪
最低競賣價額金七拾五圓也
一、地上ニ建設
一、木造草葺平家建本家壹棟
此建坪八坪四合
最低競賣價額金拾八圓貳拾錢也
右競賣申立人　李命圭
不動産所有者　李萬孫

●京城府授恩洞百九拾參番地
一、垈貳拾坪
最低競賣價額金貳百四拾圓也
一、地上ニ建設
一、木造草葺平家建本家壹棟
此建坪拾坪四合
最低競賣價額金八拾四圓八拾錢也
右競賣申立人　閔惠植
不動産所有者　明淳

●京城府授恩洞百五拾貳番地
一、垈六拾坪
最低競賣價額金參百七拾貳圓也
一、地上ニ建設
一、木造瓦葺平家建本家壹棟
此建坪拾參坪參勺
最低競賣價額金貳百七拾九圓也
右競賣申立人　洪任容
不動産所有者　…求淳

●京城府旭町壹丁目拾五番地
一、垈…
最低競賣價額金…

以上競賣期日ハ大正六年六月七日午前拾時トス

●高陽郡崇仁面貞陵里貳九參番地
一、木造瓦葺平家建本家壹棟
此建坪六坪壹合五勺
此附屬木造瓦葺平家建住宅壹棟
此建坪拾五坪貳合五勺
此附屬木造草葺平家建住宅壹棟
此建坪四坪五合
最低競賣價額金七百九拾六圓也
右競賣申立人　山崎常雄
不動産所有者　張鎭祐

●京城府齋洞八拾五番地
一、垈壹百八拾九坪
最低競賣價額金九百四拾五圓也
右競賣申立人　西川建次郎
不動産所有者　洪炳勳

●京城府櫻井町壹丁目拾貳番地ノ壹
一、垈參拾六坪
最低競賣價額金四百參拾貳圓也
一、地上ニ建設
一、木造瓦及錻力葺平家建本家壹棟
此建坪參拾八坪五合貳勺五才
內瓦葺貳拾九坪六合壹勺五才
錻力葺八坪九合
京城府櫻井町壹丁目拾貳番地ノ參
最低競賣價額金四百六圓也
右競賣申立人　大坪文吉
不動産所有者　山本德太郎

●京城府崇三洞百八番地
一、田四百四拾六坪
最低競賣價額金貳百拾參圓也
右競賣申立人　坂井純一
不動産所有者　梁在範

●京城府崇三洞百四拾八番地
一、田貳拾七坪
最低競賣價額金…
●京城府崇三洞百五番地
一、田貳拾貳坪
最低競賣價額金拾七圓六拾錢也
右競賣申立人　坂井純一
不動産所有者　梁在範

以上競賣期日ハ大正六年六月拾六日午前拾時トス

法人登記公告

寧越地方金融組合登記事項中左ノ登記事項ヲ追加ス
一、組合加入豫約者ノ爲ニ出資壹口ノ金額ニ達スル迄組合員ニアラザルモノ預リ金ヲナスコト
右大正六年五月貳拾四日登記
京城地方法院原州支廳

地方金融組合登記公告
平康地方金融組合監事李泰潤全炳殷崔長俊任期滿了ニ付大正六年四月貳拾日定時總會ニ於テ左記ノ者當選就任ス
江原道平康郡縣內面南村里四統貳戸　崔長俊
江原道平康郡郡內面西邊里壹統九戸　全炳殷
江原道平康郡郡內面東邊里參統四戸　李泰潤
右大正六年五月參拾日登記
京城地方法院鐵原支廳

商業登記公告

一、株式會社朝鮮商業銀行平澤支店
登記事項大正六年五月貳拾壹日公告ヲ爲ス事項左ノ如シ
本銀行ノ公告ハ朝鮮總督府官報及本店所在地ノ新聞紙ニ揭載スヘシ
同日支店所在地ノ新聞紙ニ揭載スル方法ヲ設置シ群山
右大正六年五月貳拾六日登記
京城地方法院平澤出張所

日録書道具 … 久保田榮三店

▲山縣五十雄　村上唯吉共著
富の道しるべ　價十五錢　郵稅二錢
京城太平通　振替三〇番　京城日報社代理部

お よ
秘密ヲ守リ丁寧ニ精々高價御預リ可申候也
京城北米倉町三六〇兵舍前小路　電話二八五四番
櫻谷質舖

開業廣告
皮膚病 花柳病 專門
六月一日より一般診療に從事す
京城太平通二丁目（多田信託所跡）
醫學士　院長　扇田豐
扇田醫院　電話二二五八番

魚釣具及網　投卸屋　問屋
御申越し次第定價表進呈
新荷著品揃仕候
京城永樂町二丁目　吉備商會
電話二三一四番　振替京城四三〇八番

金丸の鐵砲でこの通り!!!

新荷着
橫濱市本町
（獵銃、獵具、火藥、散彈、其他全備）
合資會社　金丸銃砲店
店主　西村潤藏
（獵銃定價表郵呈）
電話一五五番及六五三番　振替口座東京四七一一番

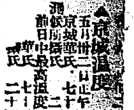
株式定期取引
開始御披露
今回東京株式取引所仲買人の認可を得候に付株式定期取引を開始仕候間何卒御眷顧の程奉希上候
尙現物は從來よりも一層御便宜に御取扱申上候
東京株式取引所仲買人
東京市日本橋區坂本町二番地（第一銀行前）
細野傳次郎商店
電話浪花　四〇九番　五〇三〇番　六〇〇一番　長　一六八九番　五六九八番　五二五〇番

各種萬年筆即時修繕
京城旭町二ノ六（府廳橫左入）
東京パイン萬年筆出張所

池坊生花大會
來六月二日三日兩日晝夜開催（縱覽御隨意）
所南山本願寺
末廣掬水社中

內科 小兒科 入院隨意
京城府龍山元町
猪野醫院　電話二〇四番

ミツワ家庭藥販賣
時候の變り目にミツワの藥を御用意
朝鮮特約店　熊平支店
電話六二四番　振替京城二二番

豫報


▲京城溫度　五月卅一日正午　七十一度六分　前日中最高溫度…　最低溫度…
（あとつゞく）
八十八夜　入梅　半夏生　二百十日…
五月二日　六月十一日　七月二日　九月一日…

明君道中記

第百六十三席 田邊南龍口演

藤堂和泉守高虎は左馬介嘉明を見て過ふと面倒と思ひました故向ふの一間へ入ると、其處に黒田甲斐守が居りました。高虎は其の傍へ着坐いたすと後から左馬介が其處へ入つて參り同じく着坐いたしましたから甲斐守は是は面倒だと思つたか 甲『イヤ是は〳〵左馬介殿サア〳〵此方へ』左『時に甲州お喜び下さい今日拙者奥州會津へ國替仰付られ四十餘萬石にお執立になつた』甲『それは何うも恐悦のことで。蒲生が斷絶いたして

見ると皆其の跡は尊公でなければ會津を治める者はござるまい、主君の御眼識に恐入つたるものでござる』左『然し拙者を推擧いたした者があるに相違ない、斯くいふ左馬介を推擧いたすといふは如何にも目が高い何も豪ものだ』甲『左様尊公を推擧いたした者は如何にも天晴なものでござる』と、甲斐守も調子を合て居ると、高虎は傍にてクスリ〳〵笑て居る件の恐い藤だから忽ち勃然として 左『何を貴公笑はつしやる、手前の顔を見て妙な笑ひ様をしなさるのは何ういふ理由だか云はしやい』高『イヤ何も可笑いと云つて笑つた譯ではない其許を推擧いたした人は如何にも御當家に對して無双の忠臣、先づ徳川家の御代萬々歳と存う嬉しく存じて

思はず笑ひを催した』左『ウム、それなれば宜いが妙な笑ひやうをするから其の意を得んと心得た』甲『然し左馬介殿、尊公を推擧いたした者は天晴な者に違ひないが其の人の志は尊公何と思はつしやる』左『何と思ふと云つて拙者を推擧いたせしは天下の名士、今にも其の人に何か大事のあつた節は斯く云ふ左馬介身命を擲つて其の志に報ふ積である』甲『ウム感服最もの一言確とそれに相違ござらんか』左『云ふにや及ぶ

一士の一言金鐵の如く決して僞りは無い』時に甲斐守が 甲『併御兩公は今まで兎角不仲でお在なされたが主君へ對しても甚だ宜しくない、此の際和解いたされては何うだ拙者が扱ひ申すが』左『其の儀は御免を蒙る藤堂如き者と直伸りをするなぞとは以ての外のことだ』甲『イヤ然う云はれては困る、何と藤堂尊公仲直りをなさる思召は無いか』高『イヤ其儀はお捨置き下さい、斯様な理屈の判らん人と仲直りなぞは眞平御免だ』却々兩人受附ないから頑固な人達があつたものだと黒田侯も呆て口を閉てしまつた、乃で加藤も退り藤堂が御

前へ出ると家光公が 家『偖其方推擧に依て今日左馬介へ確と申付會津へ引移のことに相成つた』と仰せのございました時に高虎が 高『洵に恐悦に存じまする、就ては私儀一ツのお願ひがございまする』家『何じや何なりとも其方の願ひは叶へ取らせるが何事である』高『私儀一人の娘がございまする、それを加藤へ遣はし度う存じまする』家『其方と左馬介とは大分仲と承はる、然し此度は左馬介を會津へ推擧いたした縁を以て予が取持遣さんとも無が、其方の娘は何歳になる』高『當年廿八歳になりまする』家『ウム容貌は何じや』高『御意にございます、七歳の時に疱瘡をいたし十一歳の時に麻疹を致まして洵に壯健に生立ちましてございまする』家『ウム、其方娘のことであるから定めし美婦であらう』高『御意にございます先づ世間普通』家『何か十人並と申すか』高『左様少な違ひます』家『何に違ふと申すは』高『左れば十人並ではございません十人並以外でございます』家『ハア以外は美いと云ふか』高『些と見にくい方で』家光公お考へ遊ばした十人並より醜つては仲の悪い加藤へ縁付けることは些と面倒と思召しました。

牛乳 衛生的 新鮮 病院御用 **岡野牧場** 京城東四軒町 電話一〇六九番

ハカリ油 御小賣 **吉尾商店** 京城本町二丁目 電話二四八四番

六月三日 九星
舊四月十四日 丙子
本命 六白 乾 危 大安

▲六白 剣出勝負有る日 新事見合方力は吉 ▲七赤 大祥の日 ▲八白 ▲九紫 ▲一白 ▲二黒 ▲三碧 ▲四緑 ▲五黄 [illegible]

口演藝案内

大正館 櫻井町 電話八七三 日本活動寫眞株式會社特約代理店

五月三十日より特別大興行〇入場料特に普通
〇寫眞豐富にして提供尺數を惜まざるは日活會社の特色
〇ビートラ寺院の深布 〇米國カレム會社大作
〇活劇ヘレンの冒險(電信技士の卷) ▲お國染の尾
〇日本一の活動俳優目玉松之助一世一代の女形 〇史劇天明五人女 全四巻 お局お糸に扮し
〇滑稽大活劇デブ君對アラスカ人 全二卷
〇新派悲劇お夏文代 全七卷
〇寫眞全十六卷一萬五千呎なる破天荒の長尺に付午後五時半開館

黄金館 電話 二六三七 六五三二
五月二十六日より引續き特別大興行
▲米國パテー社 ▲琵琶史劇 ▲第三篇四篇ポーリン 四卷上場 大阪商に
[illegible]

御成座 電話 一九一
新派 藤友美衛静間三郎一行
▲一番目 濡衣 ▲二番目 容と藝者
(料金普通)

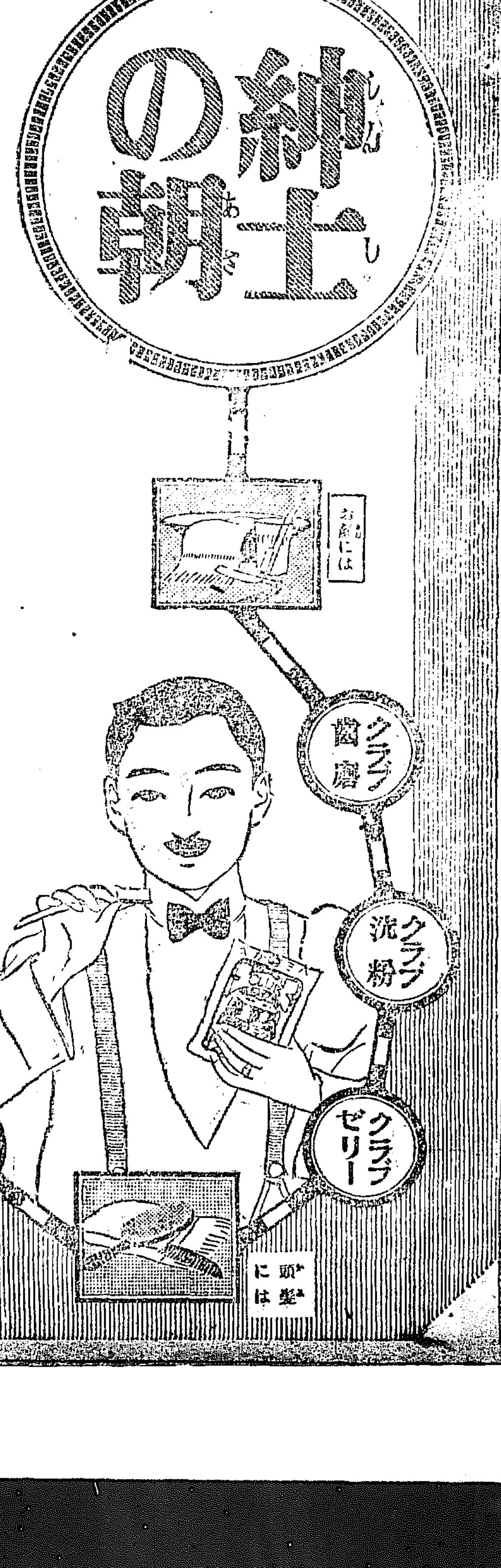
大正館 新聞の割引拆は一切致しません

▲二日目又々瀬貫
純新派活動寫眞劇 婦人畫報連載菊池幽芳先生傑作
お夏文代 全七卷(九時より映寫)
目玉松之助一世一代の女形 **舊劇天明五人女** 全四卷(六時より映寫)
キーストン會社ニコ〳〵大寫眞 **滑稽デブ君と活劇アラスカ人**

有樂館 早川演藝部 直營 電話(階上)四九七番(階下)二〇五番 東京小林商會浦辞一手代理店 米國ユニヴーサル會社特約
六月一日より公開の三大特撰寫眞
▲大冒險大活劇『第二紫の覆面』全卅卷の内四卷上場
▲舊劇 關取千兩幟 稻川内の段 全二卷
▲新派社會劇『緑の糸』全四卷 東京小林商會第二次特作
[illegible]

月經 沛經新藥 **レスノリン**
其効果他藥に優越す
内地十二錢 切手三錢 大阪北區 上一丁目三六地 發行所 常盤藥院

花柳病 外科專門
●梅毒 ●淋病 ●泌尿生殖器病 ●睾丸病 ●肛門病 ●皮膚病 ●婦人病 ●神經衰弱 ●ヒステリー
京城南大門通農工銀行裏 **司生堂醫院**



紳士の朝

(第一に)……効力五倍以上の **クラブ歯磨** で歯を上下左右に磨き

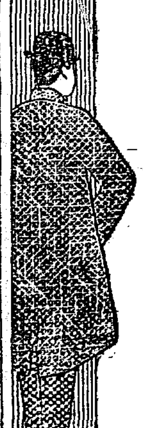
(第二に)……舶來石鹸よりも遙かに有効な日本名物クラブ洗粉でお顔をお洗ひになり

(第三に)……髭剃の後ならば一番よくきくアレ止め美身劑クラブ美身ゼリー又はクラブ美身クリームを塗つて剃刀負けを防ぎ

(第四に)……有効第一の美髪用ふけとり香水クラブキニーネ香水を頭髪に振懸けて指先で能く擦込み

(第五に)……舶來品以上の美髪用煉香油クラブポマードを掌で伸ばして頭髪に付けブラシュで万遍なく梳き

(第六に)……好評第一のクラブチックを付けて揃をお入れになれば思ひの儘に手際よく髪が分かります



儀容端正

一瓶の精分

ホンノリ色白くなる

日焦を防ぎ見る〳〵中に美くしくなります!

レートフード

一日 二日 三日 四日 五日 六日 七日

不思議な作用

附けた當座はレートフードは、ヌルつく心地が致しますが、これが皮膚に不思議な作用のある精分で、暫く掌で摩擦して居りますと直ぐ滑かになり、毛穴迄も開いて日焦けを防ぎ素顔を美くしくする事は勿論ホンノリ色の白くなる事が頗る自然で美くしうムいます。

東京 平尾賛平商店

京城日報

六月二日（夕刊と合せて八頁）

第三版

定價 一部金二錢五厘 一ヶ月金五十錢（郵稅一ヶ月金拾五錢）……[illegible]
廣告料 ▲五號活字一行金八拾錢 ▲三號活字一行金壹圓二拾錢 ▲六號活字一行金六拾錢……[illegible]
發行兼編輯人 奥田直毅　印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社
電話 編輯局二四番 營業局二二六番 工場三六番……振替貯金口座京城三〇〇番

[illegible]

大阪期米 [illegible]

▲大暴騰大崩落 [illegible]

▲激甚の變動 [illegible]

海上權力

京城日報

最近、我日本帝國海軍の、歐羅巴の海面に於ける活動、世上に公表せられ、世間今更のごとく、我帝國の功業を稱揚するものあれども、我海軍の印度洋、大西洋及び太平洋に於て、重大なる任務を擔當しつゝあるや久しく、只、軍事又は政治上の都合に依り、暫く其を發表せずして、今日まで過越し來れるもの多しと云ふのみ。

且、英國海軍の獨墺諸國を封鎖することは、甚だ嚴なるに拘はらず、猶ほ且、獨逸潜水艇の襲擊、甚だ猖獗を極むるあり、特に、獨艇米國沿海に出入して、數ば人の心膽を寒からしめたることありと雖も、我東洋に對しては、何等の企畫を試むる能はず、千九百十四年開戰の初めに於て、膠州灣を[illegible]より、以來支那海と印度洋とは、世界の安全區域たるを得るは、一に我帝國の威力に、是れ由らずむばあらず。

從來、世間海上權力を說くもの、專ら、其國の軍港と軍艦とを擧げて、以て其實力を示すに足るものと爲すの傾ありたれども、此度の戰役に依りて、初めて此說明の甚だ不十分なることを、悟るを得たり。乃ち、海上權力は、其の陸上の形勝と相待ちて、其の强を成すべく、陸上權力を離れて、獨り海上權力を全くするを得ざるなり。英吉利海軍の强大、世界無比たることは、何人も共に認むる所なりと雖も、開戰以來、三年を閱みして、未だ、敵國海軍を剿滅する能はざるのみならず、今や却て、獨逸潜水艇の襲擊に苦み、去三月以來、これが爲めに擊沈せられたる船舶、莫大なりと稱す。幸に最近に至りて、潜艇防禦經畫成り、其效果著大なりと云ふを以て、今後は、其損失を減少すべしと雖も、眇乎たる獨逸潜水艇、猶ほ能く大英帝國を苦むるを得るを思ふときは、海上權力は、未だ、海底に及ばざるを證すべく、獨逸が若干潜艇を放ちて、英佛伊近海を踏み荒らすを得るは、畢竟、其陸上に依り、恃む處の地を有するが爲めにして、英國の如く海上の島國にして、他に陸上の根據を有せざるものは、此種の攻擊を受け易きが爲めならざるべからず。

此度の歐洲戰役は、既[illegible]關して、其歸結未だ知るものあり、世人西部戰線の戰役の決勝戰なりと爲すもの多かりしも、三月以來、今日に至るの間、只其戰線の一部に、一勝一敗を見たるに止まり、獨逸軍退きたれども、英佛軍進みたれども、未だ、決定的勝利を收むるに及ばず、或は言ふ、此戰線の戰鬪亦、交綏狀態に陷るとなきを保せずと。若し、果して然るがごとくば、敵味方の爭は、依然持久的ならざるべからずして、各國々民の消長を制するものは、其食物、軍需品の供給能力たり、英佛伊諸國民は、則ち、其海上權力に依るにあらざれば、其食物、軍需品の供給能力を支持する能はずして、我帝國海軍の、協商國の爲めに重きを成す所以のもの、此に益々加はり來らむとす。

支那商工業の變遷（十三）

今關天彭

八、兩漢及び三國時代の商業（其二）

この二法の眼目は、富商大賈に大利を得させず、朝廷の權力を以て商人の利益を剝奪するに在るのである。その効がやゝ後、功臣に賜はる黃金等、みな大農から取るやうになり、その效がやゝ著れて來たが、それと同時に商人の困弊は甚だしくなつて來た。然るに是より先き、商人の困弊を增すものを作つた。それは張湯の發案にかゝるもので、舟・車・緡錢・酒に稅を掛けるのである。卽ち舟の長さ五丈以上のもの及び軺車（小車）は皆算がある。算とは百二十錢を云ふ。緡錢に稅を掛けるとは、商人をして銘々その商品の多少を槪算させ、緡錢（緡とは錢貫）二千錢に一算を課稅し、自家の製造品を商賣するものは、緡錢四千錢に一算を課稅した。また貨物の數をかくしたり、及び槪算を明細にせぬものは、その緡錢を沒入し、そんな事實のあつたのを官府に告げる者には、貨物の半額を與へたから、告發する者が續々と出て來て、遂に中流以上の商家の破產を見るに至つた。後世商人に稅をかけるに種々の名目をつけるのは、その本原は武帝の時から來たのである。

王莽時代となると、王莽は古代の事が好であるから、諸政を古代風に改めたもの多く、市制にも亦大に改革を加へ、樂元が昭に五均と云ふ事あるにより、長安及び五都の市に五均官を立て、長安の市を東西に分ちて、東市を京、西市を畿といひ、洛陽、邯鄲、臨淄、宛、成都の四都について、洛陽と中部、他はその所在の方角によつて、東都、西都、南都、北都と稱へ、司市（官名）の外に交易丞五人、錢府丞一人を置き、その徵收する稅目は頗る煩瑣に涉つた。そしてその稅は、全く自古法を用ひ、卽ち工人の金、銀、銅、鉛（銅の一種）錫、龜甲貝類を採るもの、及び牧畜業者、養蠶、織物、縫物等に關する諸職業と、其の他一切の醫、巫、卜、祝等雜多の方技に至るまで、利益を槪算して、皆あらかじめ自分で收支、錢府に申し出づると、司市、錢府は時價に從うて稅を取る。また種々の物、及び鳥獸魚鼈百蟲を山林や水澤に採り、若くはこれ等を賣捌く者は、所在の官衙に收支利益を申し出で、官衙はその資本を除いて、その利益を計算し、之を十一分して、その一分を稅とした。但し自占の弊は、武帝以來甚だしかつたのであるが、この時代となるといよ〳〵甚だしくなつたのである。普通王莽を大奸惡としてあるが、細民生活の狀態を察して頗る救恤の法を講じた。それは人民が五穀、布帛絲綿の類を賣買するに當り、普通日用品でありながら、それが賣れぬ場合には、均官がその狀况をしらべ、さてその本價で買上げてやり、人民に損失せぬやうに注意し、また物價が騰貴するときは、平價を以て民に賣り、もし價が平價より低くなるときは、人民をして互に賣買をさせて、貨物をかくして置いて價格の高くなるのを待つものを防いだ。此の時まで奴婢の市が立ち、牛馬と同じ闌に入れて賣買したのであつたが、奴婢の名を私屬と換へて、賣買する事を禁止した。これも王莽の美政の一つである。

遊支所感（十六）

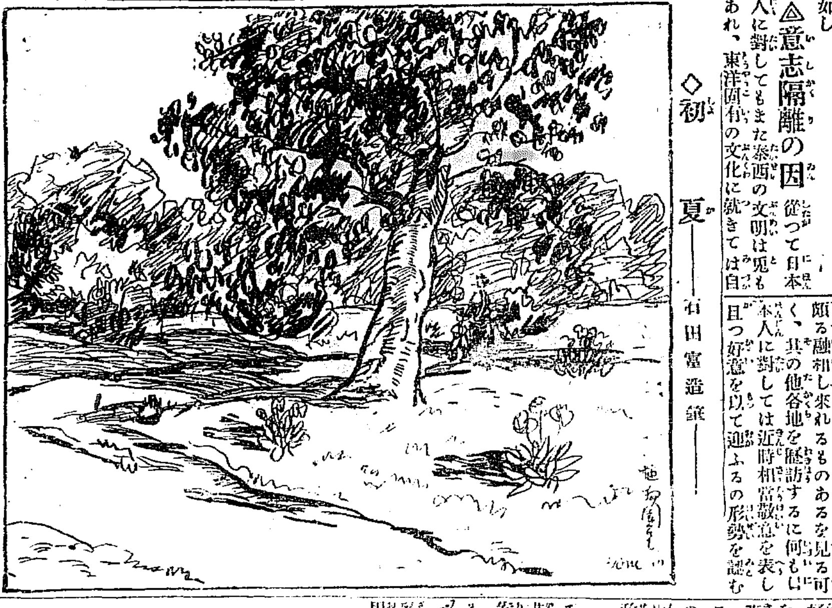
對日感情

漢城銀行頭取 韓相龍氏談

△自尊自大主義 支那人は頗る自大主義の國民にて往古より天下といへば唯だ支那而已と思惟せる位なり、斯の如きは今日の時勢に適せざることと勿論なるも、其の領域四百餘州に跨り人口五億に垂とする大國の民たるを思はゞ、また無理からぬ次第なり。殊に四千年來の歷史を有し人文の發達早くは一世に冠絶し同國のことゝて醉夢未だ醒めざるもの多くただ歐米人に對しては國土人種を異にせりと爲し其の比較をすら試むるものなきも、東洋人に向つては自尊自大の念極めて盛なるものの如し

△意志隔離の因 從つて日本人に對しても亦泰西の文明は兎もあれ、東洋固有の文化に就きては自ら許すに先進を以てし、且つ其の大國たるを恃むで敢て讓らず、然るに國勢の隆替は時代の文明に比例す可きが故に日本人はまた支那人に對して左したる尊敬を拂はず。之れ兩者が意志の疏通を缺ぐこと多き主因にして其の間個人的親善を失せし點鮮からざるもの丶如し、爲に從來に於ては些末の事件に對してすら發生每に之を機會として或は日貨を排斥し或は國恥を呼號する等不穩の言動相踵いで起り、而かも其の煽動者は嘗て日本に留學せしもの多きを占むるの狀況なりき

△彼我融和の機 又た事業の經營に當りては著しく外人との共同を忌避するの觀あり、近きは曾に對日本人のみに止まらず總ての外人亦然らざるなし、蓋し之れ利權の回復熱に胚胎せしものなる可し。現に湖南省撫臺署院にも上に近世國恥史と大書し下方に阿片戰爭より日支交涉に至る間の外交的顚末を詳述し衙立を備へあり、以て一時外人排斥熱の如何に熾烈なりしかを窺知し得可し。然るに鄭家屯事件圓滿の解決を見るや兩國民等は頓に其の態度を一變し我政府を歡迎すると共に漸次兩國間の親善を唱ふるに至れり、予が遊歷中偶へる際領事の紹介に依り省長兼督軍譚延闓氏と會見せしに氏は日支親善の必要を切言し、世界の大勢は必ず人種戰に至る可きも今にして之が實を擧げずむば東洋百年の大計は遂に施すに由なきを痛歎せり、此の種には日本人に對する多少の世論ある可きも彼我の感情に於て頗る融和し來れるものあるを見る可く、其の他各地を歷訪するに何れも日本人に對しては近時相當敬意を表し且つ好意を以て迎ふるの形勢を認む



◇初夏——石田富造筆

『過去の罪』に就て

山縣生

先年病間の鬱を慰めんが爲めに飜譯を試みたる小說『過去の罪』が今回活動寫眞に撮られて、不日黃金館に上場さるべしと聞くは記者にとりて興味ある事である。『過去の罪』は健全なる小說である事は自贊ながら記者の保證し得る所である。原作は男女の戀愛を主題としてあつたが、記者は我國人の好尙に適せしめんが爲め、親子の愛と兄弟の愛とを描くを主とし、多少原作の趣旨を變更した。それ故嚴密なる飜譯といふ事は出來ぬ、實は記者が半ば作り上げたのである。

現今の小說は病的人物を主人公としたるが多く、心持ちの惡くなるやうなものが多い。それから局面の變化が少なく、筋が一般に單調で、平凡である爲めに、一般の讀者には向かないやうである。斯る種類の小說は、所謂文士なる人々の說に據れば眞の文學であるといふけれど、記者の如き俗物にとりては矢張り昔風の『勸善懲惡主義』の小說が面白い。『過去の罪』は勸善懲惡主義の小說で、文士諸君の御氣には入るまいけれど、何人が之を讀むも、厭な心持を起すやうな事の無いのは確である。小說家として記者は全くの素人で、ある素人の記者が慰みに書いた『過去の罪』が意外にも多數の讀者に愛讀され、劇に上せられ、活動寫眞に撮らるゝ程に人氣を博したのは、矢張り一般社會が勸善懲惡主義の小說を好み、醜惡を憎み、善美を賞する事を證據立てたるものと解する事が出來る。此道德心が社會に勢力を占むる限り、世の中は安泰である。一部の文士が唱道する如き不自然なる思想が瀰漫するに至らば、社會は無政府の狀態に陷るであらう。記者は『過去の罪』が多少成功したるを見て、よい氣になつて又小說を書いて見やうと思つて居る。實は腹案も出來て居るのであるが、何分にも多忙で筆を執る閑が無い、然しいづれ其うちに本紙の餘白を假りて新參の小說家として御目見をしやうと思つて居る。

日報歌壇

村田北谷子

ふと見ればいまだ灯點かぬ電球にもの寥しき部屋うつりたるかな

窓の外の薄くらがりの夜に立てる何の一木ぞ動かざりけり

酒井涼光

いと長き旅を終りし物語り君に語る夜雨降り出でぬ

旅の物とり散らされし其の中に思ひ耽る九時の人

鈴木吉都子

わが心捧げつくして祈りしはこの有り難しの少き世界（[illegible]）

めぐり來れどくめぐり來れ明かにわれ[illegible]らぬ讚美へ撥る日のたまふなるゝが文よりやゝながき[illegible]

夏の山するし[illegible]青草の上をすべりゆく蛇の[illegible]

ろはつ夏生れ來ぬ[illegible]

□夏帽

——五の日十の日會——

○植木市に夏帽のかるい每晚　浮碧樓

○夏帽机に母の送者な手紙　華虹

○坂下りる夏帽光る眞晝　黃丘

○本堂の蟲そこゝ夏帽　鳥堂

○片船の夏帽子誰やら分らず　目池

京城學校組合公文

京城學校組合告示第五號

大正六年六月九日京城學校組合會議員ノ總選擧ヲ行フ其ノ選擧會場、投票ノ日時及選擧スヘキ議員數左ノ如シ

大正六年六月二日　朝鮮總督府京城府尹　金谷充

一 選擧會場　京城南大門公立尋常小學校

一 投票ノ日時　大正六年六月九日自午前七時至午後五時

一 選擧スヘキ議員ノ數　拾八人

法人登記公告

商業及法人登記公告

東洋拓殖株式會社監事嶋德藏及趙鎭泰ハ任期滿了ノ處大正六年五月貳拾日重任シタリ

田中合名會社ハ大正六年五月拾七日目的ヲ「米穀及工業用品ノ賣買、不動產ノ取得讓渡及其賃貸、金錢ノ貸附」ト變更シタリ

大正六年五月參拾日登記

[illegible]

右大正六年五月參拾壹日登記

京城地方法院

朝鮮及滿洲 六月號出づ（第百廿號）
一部二十五錢・郵稅二錢・半年分一圓五十錢（郵稅不要）一年分三圓（同上）
▲京城を訪ひし佛耶兩教の名士……釋尾旭邦
◎支那の革命と其將來……文學博士 三宅雄次郎
◎日支親善と孔子廟の問題……文學博士 上田萬年
◎成功せる新領土經營と施設……工學博士 持地六三郎
◎滿鐵と加奈陀太平洋鐵道……法學博士 大淵三樹
◎滿鮮統一問題とは何ぞや……釋尾旭邦
◎國民主義と殖民政策……法學博士 蜷川新
◎戰時の歐米人の特徵……法學博士 阪谷芳郎
◎支那の印象と耶蘇教……原田同志社長
◎成功者物語……鳥崎山人
◎裏門から見た總督府
◎狂犬病と防疫……田中丸學士
◎外許論 ◎踏査の穴 ◎名士と住居……HN生 ◎朝鮮法制問答 ◎滿鮮事業だより ◎朝鮮滿蒙問答
◎朝鮮の發達史 ◎最近の朝鮮政變史 ◎最近の朝鮮について
△東京雜記……旭邦生
◎米國觀光團を訪ふ……可水生
◎張作霖將軍と語る……青風生
◎外交記者の見た在鮮人
◎在鮮各府縣人布觀
◎緬甸を出した京城銀行……天來生
小說 放浪の心……岡島睡
發行所 京城旭町 朝鮮雜誌社 振替京城一三一 電話一二五〇番

時計卸商 登錄商標 TRADE MARK K
京城黃金町二丁目 喜多金光堂
電話一〇二五・振替京城七八二

良家風號 婦人之友六月號
良家風（先づ家人の心を明るくすることが良家風の第一義）三宅博士
鞏固さや（例に依て具さに情理を盡したる大文字）羽仁主筆
◎乃木大將を生んだ家風—服部他助 嚴しい教と温かい愛は斯る偉人を作り上げました
◎酒と嘘は我が家の禁物—長尾半平 禁酒主義で嘘のない長尾氏の家庭から出たお話
◎即かず離れず親子別居法—寺田勇吉 同じ町內に各自獨立した家庭を持つて居られます
◎一齋に鳴る家中の時計—加藤常子 規律正しいので名高い加藤博士御一家の生活ぶり
我家の良風 十八編
▲質素の家風 ▲間食をせぬ家風 ▲勤勞の家風 ▲老人を訪ふ家風 ▲客を愛する家風 ▲讀書好きの家風 ▲禁酒禁煙の家風 ▲自然の家風
實用讀物
◎便利なる洗濯場の設計…懸賞當選
◎卅八坪の地面へ器用な住宅…水町たづ子
◎簡單に出來る絞り染め法…奥村平治子
◎家庭で出來るおいしいお菓子（數種）…はる子
◎娘一人に要する女學校五年間の衣服費
◎產科婦人科問答（質問應答 佐久間醫學士）
◎小品 一品料理 手塚かね子
小說 若草（佐藤紅綠）　歷史小說 淀君（中里介山）
定價廿錢 半年一圓廿錢 郵稅共　東京麴町 婦人之友社 振替東京一一六〇〇

自轉車販賣部開始
ピース號 實用堅牢 自轉車 無比
附屬品卸小賣
朝鮮一手販賣店 京城本町二丁目 釘本藤次郎本店
電話三五番・二七四番 振替貯金口座京城二五六番

恩給
年金最大長期至極低利を以て即時現金立替
短期無保險にて利子全部後引契約とす
西部代理店京義線沙里院 廣川商店
京城南大門外（舊）御成町 山口屋

支那の形勢

▲黎總統態度强硬 李純をして討伐せしめん

山東督軍張懷芝氏は商議會に押へられたる結果倪嗣冲氏と同一行動に出ずるを拒絕し奉天張作霖氏は湯麟閣氏との關係より實際に於て兵を動かし得ざる事明瞭し三十日來黎總統の態度遽に强硬となり三十日より三十一日午前三時に至り軍事會議を總統府に開き時宜に依りては江西の李純督軍をして討伐せしむる方針を執るに決し三十一日朝馮國璋に對し右の旨を通知し且つ意見を問ひ合せたり尙ほ李經羲氏一日朝迄に入京せざれば王士珍氏を總理後任として議會に提出す可く旣に黎總統と王士珍氏との間に協議纏り居るが如し（北京特電）

▲張勳調停條件內容 總統承諾せば調停せん

三十日張勳より打電し來れる要求の內容は左の五箇條なり

憲法會議に督軍をも參與せしむ可し▲段祺瑞の復職▲總統の周圍に在る妖人を斥く可し▲帝政の爲め懲罰を受け居る人物を赦す事▲議員中の暴激分子を除く事

然して右に對し五日以內に回答を求め總統にして若し承諾せば自ら調停の勞を執らんと（北京特電）

▲陝西省も自由行動

陝西省長兼督軍陳樹藩氏より三十一日總統府に宛て自由行動を執る旨の電報來れり（北京電報）

▲黎總統民黨に冷淡

黎總統は時局の斯く迄發展し來れるに對し意外の感を懷き從て最近民黨に對する態度冷淡となりし爲め民黨側議員は大に悲觀し時局の成行に任す外無しと稱し居れり（北京特電）

▲民黨の一部軟化す

憲法研究會と討論會にて民黨の一部たる政學會の大部は時局收拾策として現國會を解散し督軍に謝する外無かる可しとの意見を懷き居れり（北京特電）

▲湯衆議院議長辭任

湯化龍氏は衆議院議長を辭任せり依りて三十一日午後同院は會議を開き右辭任を承認し新に之が後任を投票中なり（北京特電）

▲後任は吳景濂氏

衆議院議長は投票の結果[illegible]二百一票中二百五十七票を以て吳景濂當選す（北京特電）

◎西部戰場の大激戰

巴里來電＝西部戰場にて大々的戰鬪再開されたり獨軍はモンブロンに到達せんとてジャンベーニュに對し猛烈に殺到せるが佛軍は之を擊退せり（桑港電報）

◎觀樹將軍の首相訪問

三浦觀樹子三十一日午後寺內首相を官邸に訪問し現下の政局に關し懇談を遂げたり（東京電報）

◎伊軍猛烈に攻擊す

伊太利軍は[illegible]猛烈なる砲火を海岸の墺軍戰線及びトリエストに對し[illegible]記しあり（大阪特電）

◎露の對蒙政策

[illegible]土擴張論に反對する者多く之れが爲め同國の對外蒙政策は頓に一大變化を生ぜんとしつゝある由にて最近[illegible]

[illegible]區は吉林省伊通縣屬大沙河に在り面積六十萬坪にして炭層は二尺五寸、三尺、四尺及び地下二十六丈には七[illegible]に擴張し一日優に四百噸を採掘すべく計畫中なりと（奉天）

◎朝鮮事業公債 改正法律案決定

朝鮮事業公債法中改正法律案は一日の閣議に於て決定せり（東京特電）

◎海軍辭令 一日附左の通り辭令ありたり

海軍中將 關野謙吉
海軍機關中將 山田英之助
海軍少將 森義臣
待命被仰付
平壤鑛業所長海軍機關大佐 水谷千萬吉
任海軍機關少將

◎時局と滿洲財界

北京政界の動搖より惹いて滿洲の形勢險惡となり或は兵力の出動となるべきやも圖り難き有樣なるが其の金融界の受けし影響は奉天長春其他滿洲各地を通じ目下の所未だ甚大ならず但し形勢の變化により今日の警戒は毫も弛緩を許さゞる旨京城の或る確かなる向に入電ありたりと

◎下附苗木成績 漸次良好の域に進む

▲下附本數 殖林奬勵の爲め大正五年春各道に於て下附せし苗木總本數は地方費支辨に係るもの二千二百九十五萬本恩賜金支辨に係るもの二千の三百三十二萬本此の總本數二千六百二十七萬本なりとす、而して右の內下附一件に付き一千本以下を下附せし數は地方費支辨の分千二百七十萬本即ち總本數の五割五分、恩賜金支辨の分二百六十六萬本即ち總數の八割に當り合計千五百三十六萬本にして下附總數の五割九分に相當せり

▲下附成績 樹苗は專ら確實なる殖林經營者等に取撫めて下附する方針なるが一人當りの下附數尙千本未滿のもの多きを遺憾とす、然れども近時下附せるものゝ成績は漸次良好となり大正五年春下附せるもの、同年十月末に於ける調査に依れば平均活著步合は地方費支辨のもの八割五分、平均八割恩賜金支辨のもの八割四分、平均八割五分にして略相當の步合を擧ぐればニセアカシヤの八割七分最も良好にしてクヌギ及びクリの八割四分クロマツの八割三分アカマツの八割二分白楊類の一割一分其の他の七割八分順次相亞げり

▲道別比較 更に之を道別に比較すれば江原道の九割三分最も良好にして慶尙南道の九割二分、咸鏡南道の九割、忠淸北道の八割八分、忠淸南道及び黃海道の八割六分、慶尙北道の八割五分、平安南道の八割三分、京畿道及び平安北道の八割二分、全羅北道の八割全羅南道の七割八分順次相亞ぎ咸鏡北道の七割一分最も不良なり、尙ほ總平均活著步合八割五分を大正二年の七割五分大正三年の八割四分、大正四年の八割三分に比すれば漸次良好の成績を擧げつゝあるを見る可し

◎京城水道收入

京城龍山を其區域とせる京城水道の使用料其他に就き京畿道水道係の調査に依れば五年度の使用料調定濟額は總計二十六萬九千二百三十七圓三十七錢にして收入濟額二十五萬六千二百七十七圓七十四錢缺損額百十一圓三十八錢收入未濟額一萬二千八百四十八圓二十五錢にして此の收入步合九割五分一厘を示せるが以上は六年四月末日現在の調査に屬し金庫閉鎖期會計年度は六月三十日を以て打切る事と成り居るを以つて四月以後の收入額は計上されし居らざるものにして五年度は未だ整理未濟と云ふべく而かも前年度の調定濟額二十四萬七千十六圓四十一錢收入濟額二十四萬一千百七十七圓二十六錢收入未濟額五千八百三十九圓十五錢收入步合九割七分六厘に對比する時は調定額に於て既に約二萬二千二百二十一圓收入濟額に於て約一萬五千百圓の孰れも增加を來せるなり即ち本年六月迄の收入額を豫想し及び收入未濟額が順次翌年度へ繰越して計上され居る事等を思へば京城水道收入は逐年非常なる好成績を示しつゝあるものと謂はざるべからず今各種前に就き五年度に於ける調定濟額及び本年四月迄の收入濟額を揭ぐれば左の如し（圓以下切捨）

種別	調定濟額	收入濟額
專用	六四、三六四	六一、四三一
官設共用	三四、〇四〇	三一、〇五五
私設共用	四二、一〇七	四〇、〇一九
計量	七四、六二七	七三、五八五
消火栓檢查使用料	四三	四三
設計手數料	九〇三	九〇一
給水工費	三八、五〇三	三七、〇六〇
修繕工費	九、一二五	七、二一九
量水器使用料	—	—
用具使用料	五九四	五四五
鑑札及鑑交付手數料	六〇三	六〇三
賠償金其他雜入	四、三二四	三、八二一
合計	二六九、二三七	二五六、二七七

支那遍歷

山東鐵道（下） 中島生

山東鐵道の沿線には一箇の隧道だに無し。然れども膠州灣及び渤海に注ぐ河川の本支流多數ある爲め、橋梁到る處に在り幹線のみにて二百九十餘を數ふ。停車場は槪ね煉瓦又は石造にして、堅牢を旨とし、裝飾を略せり。但だ建築は特に支那風を模し屋上に龍を飾り、室內に支那樣の壁畫を描く等、獨逸が努めて支那人の意を迎ふるに苦心したるの跡を窺ふに足る。獨逸の經營時代に在りては鐵道從事員の大部は、之を土著の支那人中より採用したり。これ高給を要する本國人の職員を減じ、以て營業費の節約を計る趣意にも出づれど又一方には、山東に於て經濟的發展を期する上に、常に支那人の好感を利用せんと欲したる深慮に基づけるものたるを知らむ。日本が滿洲に鐵道を經營するも、獨逸が山東に鐵道を經營すると、其の根本の目的に於て多少異なるものあるべしと雖も、鐵道從業員の多數を自國人に求めて支那人を排するは、假令表面は然らずとするも、隱微の間に支那人の感情の面白からざるものあるべきは、勿論の事なれども、這は日本の立場として致し方なかるべし。但だ滿洲に於ても山東に於ても、絕體必要の範圍以外には、成べく支那人の勞力を利用するに努めむ事を希望せざるを得ざる也。

山東鐵道は千九百一年四月靑島膠州間を開通し、一部の營業を開始したるが、千九百四年全線開通に至る迄は、所謂建設時代にして、千九百五年より始めて純營業時代に入れるものとす。されば鐵道開始の當初即ち千九百四年度には利益配當の如きも僅かに三厘餘に過ぎざりしが、逐年好成績を示し、千九百九年には六分に達し、同十二年には七分五厘の配當を見るに至れり。

大正三年九月山東鐵道が日本軍に占領せられて以來之が保管經營は臨時鐵道聯隊の手に收められしが、大正四年三月凱旋に決すると共に、山東鐵道管理部の組織發表せられ、從來の鐵道聯隊所屬の軍屬以下殘留希望者にして、軍隊に差支なき者を引繼げる外、管理部の所要員は總て滿鐵より派遣せられ、之を陸軍省囑託又は雇員傭人として遇せり。管理部の編成は庶務、調査、營業、汽車、工務、會計、用度、衞生等の諸課及び鑛山、工場に別ち、部長之を統轄す。部長には現に滿鐵理事藤田虎力氏任ぜられて靑島に在り。

斯くて山東鐵道は今日尙ほ軍用鐵道たる過渡時代に在りと雖も、著々經濟的職能を發揮して、施設の復舊改善と相俟て、純然たる營業期に移りつゝあり。其の收入に於ても、獨逸時代に優るものあり。管理部の經營に屬してより、一般旅客貨物の運輸營業に關しては、實際の必要に應じて漸次に改善を計り、旅客賃率は三等級制とし、其賃銀は地帶制に依り、距離遞減法を用ひ、小荷物賃銀は距離比例法に依り、又國產奬勵の趣意を以て、小荷物扱、小口扱諸品及び日用雜貨品に對し運賃割引を實行し、大連汽船會社並に滿鐵會社と聯絡し、郵船其他日本內地定期航路との間に旅客及び貨物の聯絡輸送を協定し、旣に滿鐵との聯絡運行を期しつゝあり。殊に濟南驛に於ける津浦鐵道との貨物連絡は、山東鐵道として營業政策上最も急務に屬するを以て、愛に當局は支那官憲と折衝努むる所ありしが、愈々本年春に至り直通聯絡の協定を遂げ、旣に實施を見るに至れり。

山東沿線地帶は滿洲の如く大量の特種產物少しと雖も、西部山東及び北部河南の沃野は、天產豐富なるものあり、且又沿線各地の鑛物は頗る其開發の有望なるを以て、若し夫れ將來濟南以西京漢線と接續する鐵道の實現を見るに於ては山東線の經濟的價値は大に增加すべく又た高密附近より沂州を經て徐州に到り海蘭鐵道と連絡する所謂南部幹線の敷設せらるゝあらば、更に山鐵の發展と、靑島の繁榮は偉大なるものあらん。

◎釜山組合議員當選

釜山學校組合議員選擧は一日午前八時より執行投票總數千六百九十七票中無効二十票あり午後六時終了開票の結果左の諸氏當選せり（釜山特電）▲百五十六票石原源三郎▲百四十四票伊藤庄之助▲百十票佐々木淸綱▲百九票福本良之助▲百七票水野巖▲百一票村上元治▲百票石淵重之▲八十五票岡桂三郎▲八十四票田端正平▲八十二票中村久藏▲八十票水上八藏▲七十六票加藤奧治▲七十五票櫻木行雄▲七十二票三島一平▲六十八票松本小三郎▲六十五票香椎源太郎

◎吉林鮮銀開店

豫て準備中なりし鮮銀の吉林支店は六月一日より開店せり尙ほ支店長は同日附久保田積藏氏任命せられたり

◎釜山商銀支店

株式會社釜山商業銀行に對し總督府は大正六年五月三十日附を以て慶尙南道統營に支店設置の件を許可せり

◎柳田翰長出發

貴族院書記官長柳田國男氏は京城に於ける用務終了せるにより一日朝八時三十分南大門驛發內地へ向へり

◎室田根津兩氏動靜

入京中の忠北輕鐵發起人根津嘉一郎室田義文の兩氏は一日總督府其他を訪問せしが大屋鐵道局長官は微恙のため其の官舍にて兩氏の訪問を受け種々輕鐵計畫に付聽取したり尙ほ兩氏は二日朝出發南行すべしと

◎小松綠氏著京

既報の如く小松綠氏は夫人同伴一日午後九時南大門驛著列車にて入京朝鮮ホテルに投宿せり

◎右近氏元山行

滿鮮視察の途にある右近權左衞門氏及び早瀨完二氏の一行は三十日來鐵直ちに水利灌漑地の踏査し一泊の上卅一日正午發列車にて元山に向ふ（鐵原）

◎リンツエ氏通過

東淸鐵道運輸部長リンツエ氏は轉地療養のため夫人令息と共に一日午後八時五十分南大門通過內地に向へり

◎藤田總監歡迎會

這回入京せし前總督府醫院長藤田軍醫總監の歡迎會は四日午後七時朝鮮ホテルにて開催、發起人は芳賀院長、宇佐美、小原長官等十數名にして會費四圓總督府醫院庶務課（電六〇八）まで二日中に申込むべしとなり

◎教育視察團入京

福岡縣教育視察團三十三名一行は三十一日夜九時南大門驛著列車にて內地より入京し原金旅館に投宿せり

◎日支聯絡驛名稱改正

京本線日支聯絡驛新民府驛を六月一日より改正し新民と改稱する旨支那政府より通知ありたりと云ふ

人事消息

▲宮入慶之助氏（九州帝國大學醫科大學教授）一日夜入京朝鮮ホテルへ
▲佐々木慶北事務官 二日朝退京
▲中島八郎兵衞氏（淺野鑛山技師）一日朝退京
▲神林啓太郎氏（成興炭坑社長）同上

◎蔭言北語◎

倪嗣冲君が憤然獨立の宣言をすると君も〳〵と獨立と叫び出した▲而して各將軍手兵を提げて北京に迫らんとするなど大に物騷になつて來た▲處が此の喧嘩の根本問題たる對獨宣戰案は何處へ何うなつたか▲騷ぎの舞臺は北洋派軍人と黎總統との喧嘩になつて仕舞つた▲張勳老が遂に兵を率ゐて北京に調停に出掛ける相な▲老人猫糞を起さねば好いが此の老人の癇癪玉がパチンと裂けたら其れこそ愈々ナ騷動になる▲混沌たる北京の政界などと云つて居る內に奉天の張作霖君の處へは中央政府から電報が飛び込んだ▲出兵や獨立宣言は鳥渡見はせてくれ何れ段君も復職さするから▲ナール程之れが奉天に飛び込んだ以上他の各督軍の手許へも行つて居るに相違ない▲湯化龍君が倪嗣冲君と會見したのも蓋もあれば底もあるとの評判▲何處からか北京政府へ速に議會を解散せよとの電報を打つて來た相なが▲騷動の根源たる議會は開會處か議員連中は天津や其他に逃げて仕舞つたから解散と同樣だ▲日本で恐ろしいものは地震神鳴火事爺だが支那では水旱疫災民奸となつて居る▲處が昔から水旱が疫災民奸を爲すが常であるとか▲今年も直隷、山東、河南の山河雨降らざる事殆ど八箇月▲饑饉の兆歷然たり遠からず三省內に禍亂勃發せんと物騷な豫言する者もある▲豫言處か民奸が順序を飛び越えて最う發萠して居るして見ると殘るは疫災だが矢ツ張り物騷千萬▲今年の支那は星廻りが惡い厄年だ

◎三大寫眞上場

當る六月二日から八日迄七日間
全編を通じ最も快絕！壯絕！

◎大冒險大活劇 ポーリン

御馴染深き諸君の最も親しきポーリン全長篇に二十卷烈火の如き大々活劇天柱爲めに碎け地維爲めに飛ばんとする勇猛兩全せる壯絕快絕なる大寫眞ポーリン獨特の大活躍は正に本編に現る

山縣五十雄先生譯
京城日報揭載小說

◎家庭悲劇 過去の罪

親子の愛、兄弟の愛、主從の愛、戀人の愛すべて人情の美を描き出したる最も美しき小說…… 淚もあれば笑もあり先年當地壽座に於て本俳優が上場し十五日間打續けて當地劇界のレコードを破り滿都の人氣を沸騰せしめたる家庭劇は即ちこれなり…… 寫眞場面の變化八十回に達す

◎舊劇 血櫻七之助 全三十五場

今度こ云ふ今度の寫眞は三寫眞こも普通興行の撰擇とは全く違つた獨特の選定による一粒選の三大寫眞たる事は斷言して憚りありません

陸續御來舘あらん事を願上ます
京城日報愛讀者には特に破天荒の大割引あり

御觀覽料 階上 全部 三十錢 階下 全部 十五錢

天活特約 黃金舘

立花師團の幹部演習

北軍の混成旅團は敵の側背を衝かんとす　矮小な朝鮮馬が秋山將軍の前を……

第十九師團の幹部演習が水原の街はづれで開かれた、六月一日の第三日目である、朝の七時半頃行つて見ると水原電氣會社の向ふの利川街道に夥多の

×軍馬が嘶いて　道路の上には立花師團長が旭に輝る長劍をつけて居る、道路の下を見ると羅南の大村第三十八旅團長や平壤の市川第卅九旅團長などが軍裝のまゝで地圖や鉛筆を握げてゐる、それに師團の幹部（中佐以上）の人々も十二三名居並び山田第七十三聯隊長（咸興）及び平壤加藤第七十四聯隊長（羅南）からの野島第七十七聯隊長、龍山の池內第七十八聯隊長まで整列して一同居る

×師團長の話し　を聽いて居る『……第七十七聯隊の一箇大隊はれんせん里の向ふに居る、第二大隊はその後方三百米突の山麓に集合して居る……第七十八聯隊の第一大隊は第七十七聯隊の左翼に連なる……敵は今勇敢なる前衛の爲めに擊破され……』といふやうな師團長の聲が杜絕れ〳〵に聽れて來る、立花將軍の後ろには統裁部員の小出師團參謀、山崎參謀が起ち更一つ後ろの方には質視に來た

×秋山軍司令官　が旭日大綬章を輝かせながら起つてゐる、司令官の後にはまた黃色の副官章をかけた野津大塚兩副官が地圖を持つてゐる、その內に立花將軍と道路下の幹部の人々との間に問答が始まつて幹部はいろ〳〵試驗されてるやうに見えた、……此の日の演習の想定といふのは今水原から利川街道に亙る間を守備した南軍の陣地に京城の方から來た北軍が衝突して居るところへ更に

×南軍の側背を　脅威すべき任務を以て京城方面から前進した北軍混成一個旅團がやつて來たのである、而して其の先頭は一日の午前十時、その步兵の先頭を以て水原の北端に到達したといふのである、而して兵力未詳の敵（南軍）の一縱隊は隅村里から西進して來て午前八時にその先頭が漁汀社を通過したといふのである、また南軍の騎兵は水原東方約千五百米突の

×牛滿里で北軍　騎兵と相對峙してゐるといふのである……、兎に角これで双方の兵力といろ〳〵な條件を示して北の將柒の駒をどう出すかといふのが問題であるらしいその間幹部はみんなバタ〳〵と退いて答案めいたものを書き出した、該演習はこれから九日まで每日つゞくのである、一日の午後二時から更に幹部は天安方面に行くといふことである

×折から小犬大　の朝鮮馬が秋山大將の前をヂヤラン〳〵と過ぎた、將軍はさも感に堪へぬといふ風で此の矮さ過ぎる馬を見てゐたのも面白かつた、一同は間もなく勇ましい騎馬姿で東へ去つた（一日午前九時半）

◇立花師團の幹部演習　一日午前八時水原東方の利川街道にて‖中央に起てるは立花中將、左端は秋山軍司令官、右は師團の幹部なり

長野丸の坐礁　乘組員一同無事

郵船會社汽船長野丸（三八〇九噸）は五月二十九日大連にて豆糟を積み込み橫濱へ航行中一日午前十時三十分山口縣長府沖にて坐礁せり船體は滿潮時に至らば自然浮揚すべき見込なるも下關市よりは汽艇を派して救助に向へり船長以下乘組員は一同無事なり（門司特電）

スミス氏　記念牌を受く

スミス氏一日朝大阪築港附近にて見事なる飛行を爲し市長より記念メタルを受けたり（大阪特電）

大熊暴れ廻つて四名を咬む　黃海道山中の椿事＝一名死亡す

黃海道新溪郡沙芝面幕絕里吳建宋妻姜氏は三男正模（九つ）を連れ五月二十日午前十時頃他より歸宅の途中自宅より三丁許りの山麓に差蒐りたるに突然一頭の大熊出現して正模の胸部腰部等に咬傷し逃走したるが正模は手當を加へし甲斐も無く遂に午後二時頃絕命せり急報に接し里民が追跡したるに狂奔したる件の熊は古面丁家里古島洞方面に逃走し折柄附近の畑にて耕作中なりし同洞の金致煥に一箇所、同人妻に四箇所の重輕傷を負はせて猶も暴れ廻り東面馬山里の韓氏が少女を連れて谷山方面より歸來中を襲擊し韓氏が少女を匿したるに熊は韓氏の臀部を三回擲き捌りたり斯る處へ洞民は各手に棍棒網等を携へて包圍し遂に撲殺したり體量四十餘貫の逸物なりしと負傷者中金致煥夫妻は目下加療中にて重態なるも生命には異狀なかるべしと

壯烈な競技　奇拔な餘興

全鮮自轉車競走大會期近づく　訓鍊院原頭練習倍々盛んなり

本社主催の自轉車競走大會は開會に日の近づくに隨がつてます〳〵熱狂の度を加へつゝあり會場なる訓鍊院には連日當日出場の選手連中詰めかけ熱心に技を練り居れるも勇ましく、當業者又孰れも各選手を督勵鞭撻しつゝあり、多くの選手中殊に一二流選手は平素の修養もある事とて最も元氣にして二十週五十週の長距離を走り續くる事は些のみ苦とせざる摸樣にて必勝を期せる練習振りは當日の競走の劇烈さを語り居り、各選手の練習を見るべく訓鍊院に集まり來る人も亦尠なからず、既に家臺店なども出して見物人を呼び居れる者もありて頗ぶる賑ひつゝある有樣にて著しく活氣づけるを知るべし、當日會場には十數箇所に天幕を張り招待者の觀覽席に充つべく、各流選手競走の外餘興として奇拔なる假裝行列、無邪氣なる少年選手競走、障碍物競走、玉拾ひ、提灯競走等あり、その番組順序等は當日發表すべし、然してその後本會に對し寄贈せられたる品左の如し

▲パナマ帽子半打小倉商店▲一圓也二輪商店▲一圓也田中商店▲一圓五十錢也須見商店▲優待券五十枚黃金館▲煙草ワンダー八箱東亞煙草會社▲優勝旗三旒京城輪業會▲同上一旒龜屋染物店

市會議員の慘死

橫濱市々會議員杉田誠三氏は[illegible]に來り一日電車より降りんとする際プラツトと本線との間に墮ち頭部を粉碎卽死せり（大阪特電）

醫師殺害さる

石見國鹿足郡津和野町醫師長野某（五九）妻もと（五三）は一日午前三時強盜に殺害されたり（大阪特電）

破片に打たる

黃海道長淵郡樂道面小林金鑛青柳第三坑內にて五月二十日午後四時頃坑夫鄭臺鎬が爆藥の裝塡を終へ二十間許り離れたるに爆發と同時に五百匁位の鑛石の破片飛來して同人に命中し應急手當を加へしも同日午後六時頃絕命せり

烏山の晝火事　十一棟の燒失

京畿道水原郡城湖面烏山市場牛商韓桂花方より五月二十七日午後一時半頃發火したるが折柄の烈風に火は忽ち附近に延燒し烏山餠店の兩消防組出動して消防に努めしも遂に七戶六棟を全燒し四戶四棟を半燒して辛くも午後六時頃鎭火せり其の際類燒者朴殷成の二男寅雄（六つ）は無慘の燒死をなすに至り損害合計一千九百八十六圓の見込みなりと同所は市場の事とて家並密接し一時は大混雜を呈したりと偶發火の原因に就いては取調中なるが桂花方の附近にある共同便所より失火したるものゝ如しと

產婆看護婦試驗

京畿道衞生課にては本年度產婆看護婦試驗は來る四日及び六日の兩日に亙り舉行せらるべき筈なるが去月二十五日願書提出期限迄の出願者數は產婆受驗者十三名看護婦受驗者二十五名にして之に京仁にて多く產婆受驗者十三名は總て內地人看護婦受驗者二十五名の中十六名は內地人六名は鮮人三名は外國人（米）なる割合を示し特に外國人に對しては英文答案を受理する由なるが受驗者は四日午前八時迄に總督府醫院に出頭すべく當日體格檢査學說試驗の上同日實地試驗を施行し六日學說試驗の成績を公示し同日實地試驗に移り七日午後二時道廳門前に合否格を掲示すべしと云ふ

逐鹿界

▲龍山に攻防戰を始む

‖銀行會社側結束の風說傳はる‖

◇日一日と凄じくメートルを上げる◇

◆今度は棄權者が少い◆

京城の會社銀行團で漢湖農銀の遠山君を推すと云ふ風聞がドコからか傳はつた▲コレを聞いて官廳で大アテが狂ひヤケ氣味に銀行會社の方に喰ひ込んでゐる其候補は方々の銀行や會社の知己に狂氣の如く何回も電話をかけて聞き合はしたさうな▲遠山君推薦說は全然架空の話しではない少なくも會社銀行員間の一部にどうたらうと云ふ相談はあつた、然しも時期も遲し眞率な相談ではないらしい、恐らく成立つまい▲遠山君は此說に就て滿更色氣なきに非ずと云つた風の態度だ『僕は始終旅行勝ちだしするから今回は運動までして議員にはならぬ、但し僕を推し僕に投票し僕を議員にして下さる向があればそれでもイヤだとは云はぬ』と語つてゐた▲京城の役所の大部分は既に候補者がきまつた、民間の活動範圍は存外狹く票數も澤山はないのに候補者は大分多いため、龍山方面に小杉●謹八●高山孝行君と云ふ顏觸れは盛んに切り込んで行きつゝある、龍山の候補大村大和の兩君は其の地盤を固めて退かぬ防禦に大に努めてゐる▲また旗色を鮮明にせぬ候補もあるので茲許優劣の判斷は一寸つきにくい、大體は分つてゐても候補者諸君の名譽のために始らく沈默を守らう▲前回の選擧は有權者數七千餘に對し二千の棄權者を出した、乃ち棄權は三割に及んだ、然し其の多くは官吏であつた▲所で今回は役人の立候補多きため前回までは公民權の行使に冷淡で興味を多く有しなかつた官吏も皆つて投票場に赴くであらう▲結局旅行中の人や病人は措いて問はず又陸軍々人並に監督側の監督官を除けば、其の棄權は少ないじやらうとの觀測である▲新舊龍山では二日除り見て三名の候補を推し立つる事は共倒れとなる虞れあり、結局現在運動しつゝある大和大村の兩君に留むるであらう▲大和町二三丁目の有志は同一步調をとる事に纏まり、近く役員及び有志會を開いて候補者を極めるさうだ▲何と云つても目下最も盛んに活動しつゝあるは河村●小杉●高木●池田●高山●大和の諸君であらう、氣候も暑くなるが選擧熱度は日一日凄しくメートルをあげて行く▲學校組合會議員の能力を單なる組合費の査諮問機關のやう報じてゐる者あり、これは恐らく頭のねぢがゆるくて府協議員と組合會議員とをゴツチヤにしたのであらう▲組合會議員は組合令第四十二條第四十三條を見ても分るが、豫算議決權は明らかに與へられ、理事者の諮しを開くと强ぎて困るとまでコボしてゐる▲であるから府の教育機關の完成を圖るには有能な公平な眞面目の人を舉げたいと云ふのである、時勢が分らず、唯無茶な事をのみ云ふやうな連中は有權者の方で御免を蒙るが好いと云ふのである▲銀行會社の纏まつた票數も、段々方々から泣きが入つて來るので四分五裂しつゝあるらしい▲鮮銀の島雄庶務課長が出馬すると噂通信は傳へた▲本人は『冗談じやない、ダレがそんな馬鹿な事を云ふ、ナーニ柄にない事は出ないのかつて？萬一出たら切腹して見せるよ』などと笑つてゐる▲沙上偶語の出るのは此際當然だが、島雄君の出ない事は記者が保證しやう、鮮銀の票數をあてこんでゐる候補諸君は乞ふ安んぜよ……

近松師の遺書

近松師定師の遺書は十行罫紙にて細字二百枚に上り葬儀は質素にせよと

露國の一視同仁たるに過ぎざりしが最近同國革命の結果社會主義及び平和論者等は頓に勢力を得て對外傾

府に警告し……露國新政府は目下對東偏政策に就きて提議せるが大約從來の侵略方針を放任主義に改め以後東偏に對しては支那政府と同一に唯だ信

奉天……氏は……長王煥之外二人と合辦組織を以て同興煤鑛公司なる者を創立したり……良なり且つ營口驛を距る僅に一哩半にて運搬の便あり最も有望視せらるゝものなれば近く鑛區を百六十萬坪

◁◁長生不老萬病共治▷▷

▲開店披露▼

拜啓各位益々御清健之段奉賀候陳者高麗人蔘は萬病回春の靈劑卽ち人身を健康ならしめ精力を增進し補血保氣其效果を奏する事迅速確實なるは今日に至る迄各當用者諸氏及び各醫學博士既に實驗證明せる所なれば今更陳述を要せずと雖も元來支那南方にては普通高麗人蔘は支那にて多く此を當用す其高麗人蔘を尊重する一例を舉ぐれば支那南方にては普通高麗人蔘に金銀の裝飾を加へ之を鎖にし我邦の時計の如く前に下げ茶又は水を飮む時は必ず一度此を浸し又貧乏者等は一村每に醵金をなして若干の高麗人蔘を購求し此の當に一村共同の井中に浸置する等枚擧に遑あらず是れ高麗人蔘は人身を不老回春萬病共治の效能あるを信ずるが爲めなり昔日は高麗人蔘の當用者極めて少數にして僅かに支那人の當用に止りしも今日に至りては廣く世に普及せられ高麗人蔘精、高麗人蔘粉末等種々の名稱を付し各當用者に賣却されつゝあり然れども其原料は高麗人蔘其物なれば效能に付ては何等の差異無し總て是等の商人は高麗人蔘農作者卽ち弊會等より買收賣却するものなれば極めて高價なるに付き弊會は深く此を憂ひ當用者諸氏をして頗る廉價にて此靈蔘を得せしめんと欲し一方には高麗人蔘の耕作に勉め一方には肩書の所に販賣店を開始し遠近當用者諸氏の便宜を圖り極めて廉價に迅速に提供せんとす希くは多少に不拘一應御試用被下度。右御案內旁御勸告申上候　早々

朝鮮京城明治町二丁目
高麗人蔘商會
主　黃鐘憲
電話二九九二番、振替京城五八六番

宮內省御用酒

天下逸品の灘釀
菊正宗
販賣店到る處にあり

朝鮮發賣元
合名會社
本嘉納商店
釜山倉庫部
電話三一二
振替京城二一七三番

篠田東治郎
那須文五郎

花筐（一三）

松田竹の島人作

田淵が、鎌倉八幡前の料理店梅岡で、お琴に逢つてから四五日經過つと、東京の小石川武島町の田淵の宅へ京子が來た。

門の潜り戸を開けると、其處から玄關まで、長方形の石が敷いてあり左手は竹の建仁寺垣で、庭の松の枝が、其垣根を超ゐて、そして植込の檜の鬱蒼と茂つたのも見ゐる。

田淵は、京子を座敷へ通した。八疊の客間は、床の掛物から、活花まできちんと整つてゐて、庭は飛石の配置や、樹木の位置が、能く其所を得てゐた。

『何時の汽車で往らつしやいましたか？。』

『八時三十分大船發で參りました。』

『嘸かし御疲れで居らつしやるでせう。』

『何麽貴方、一時間と鳥渡で參れますから、然う疲れも致しませんわ。』

『實は私の方から御伺ひすべきですが、夕刻から他に參らねばならぬ要事があるもんですから、失禮ながら御出でを願ひました譯で』

『什麽致しまして、妾が御願ひしたことですから、妾が伺ふのが道でございますわ。』

京子の口吻では、何にか田淵に頼んであるらしかつた。

田淵は茶を侑め、菓子を侑めて

『御頼みのことに就きましては、種々注意して居りましたが、市野さんが御遊興に爲るとしたところで、これと言つて、東京では別段御熱中にないと思つたから、全然田淵の言葉を信じなかつた。

『其麽婦人が、鎌倉にある理由はございませんが……』

『ところがあるのです。』

『では鎌倉の何處に、其婦人が居るのでございますか？。』

田淵のいふことを、全然信じて居なかつた京子は、田淵が熱心に言ふだけに、若しやと疑念が起つて來て半は信じ、半は疑つてゐた。

田淵は、一種焦燥すやうな口調で

『燈臺下暗しと申しますが、全たくですね。』と露はにそれと言はなかつた。

京子は、少し首を曲げて考慮へて後、

『仰ることは、益々妾の腑に落ちませんでございますが。』

『私が申上げることを、自然御信じがなければ、寧ろ申上げんで引下がる方が、私に取つては得策だと思ひます。』

『御信じ申さないなんて、決して其麽ことはございません。』

京子は、愉悅氣味に言ふ。

爲つてる藝者もないやうでございます。』

『左樣でございますか。併し妾が心配しないやうに、氣休めの爲めに、其麽ことを仰るではございませんか？。』

『いや決して、然ういふ理由ではありません。けれども貴女を御可哀想と思ひまして、畏懼なく申上げますと、市野さんが御熱中な藝者は、東京にはありませんが、外の地方に一人おありでして……』

京子は怪訝な顔をして、

『外の地方と申しますと？。』と凝乎と田淵の顔を見詰めた。

『外と申しますのは鎌倉です。』

田淵は恁う言つて、京子の顔色を窺ふやうに、暫時視と其顔を流眄に見た。

『鎌倉に、市野が夢中になつてる婦人がございますか？。』

『あります。』

皮膚科　皮膚病　徽毒病　淋病　膀胱病　生殖器　機能障碍
入院隨意（診察夜九時迄）　日曜祭日午後二時迄
京城明治町二丁目（元二丁目）　佐藤醫院（電話一一七三番）

金牌受領　登錄商標　滋養飲料　玄米精乳　京城北米倉町（電話五百三番）
○粗惡なる模造品あり御用心○

田中舘博士の飛行哲學

自轉車の怪我で、長く湯河原に靜養中で、負傷も全く癒つた田中舘博士は、最近に歸京した◇博士の飛行哲學に曰『飛行機に關係するものは足を一本短くせねばならぬ樣になつて來た、第一帝國飛行協會の大隈會頭がそうだ、スミス君も一本短くした山梨縣の中澤飛行家も短くした所が段々廻り廻つて今度は自分の順番となつた◇自分の負傷した足は左足より五分許り短くなつたよ、何でもスミス君より俺の方が短い相だハヽヽ』◇自轉車はもう止めるかと、よく人に尋ねられるが、何とも返事は出來ない、實際人力よりも電車よりも早くて急用の間に合ふ、あんな便利なものを止めることは自分でもどうも諦めが付かぬよ』と、さも殘念さうに話して居た（東京）

新刊紹介

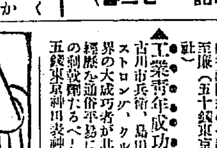
▲置碁互先定石新法（方圓社長中川龜三郎、六段岩佐銈共著）定石新手二百八十局及び著者の對局二十局を收む前者に於ては從來及び互先に分ち對局上先づ知らざる可らざる定石に就き、最初の採式を敎へ更に其の活動變化の妙を說き後者に在ては全面の戰局の戰略に就て精細なる評解を加へたり初心者は以て獨習すべく心得ある者は依つて本手筋を會得すべし（一圓東京日本橋北槇町十六大阪屋及び東京神田南神保町九新文館）

▲軍國通信 本誌は千九百十五年より千九百十六年に亘る重要事項にして東京大阪の有力新聞社特派員の報道を整頓配列したるものにして戰爭に依つて其の眞相を曝露せられたる交戰國及び中立諸國の軍事、政事、社會、經濟、思想其他各種の事情は頗る利なる觀察と明快の筆致を以て紙上に活躍す（一圓東京赤坂福吉町安達社）

▲革命の露國（日露協會報告臨時號）露國各新聞及び臨時政府の宣言、官報所載の記事を基礎として最も精確細密に今次露國革命の近因、革命の勃發狀態、地方に及ぼせる影響、食糧、勞働者、兵卒の權利擴張等の各問題、革命と獨逸の朝野其他革命に關聯せる一切の必要事項を調査せるもの（非賣品東京麴町內幸町日露協會）

▲是でも武士か（シー、ダブリユー、ロバートソン、スコツト著）本書一度發刊せらるゝや好評忽ち湧くが如く世上に多大の注意を喚起せしが今回一般の需要に應ぜん爲め改訂して價を廉にし殊に前大半に於て紹介せし如く條約の犧牲となりて隱忍默從せる獨逸が公法條約無視の暴戾の狀を叙し更に附錄として開戰に至る迄の外交經過を叙し更に附錄として英人の特性及び英人の武士道を加ふ一般智識階級の一讀を要すべき好著にして價亦至廉（五十錢東京日本橋通三丁目丸善株式會社）

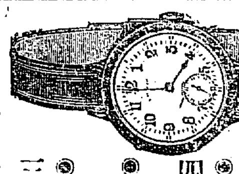
▲工業靑年成功譚（大日本工業敎育會編）古川市兵衛、島田孫一、服部金太郎、アームストロング、クルツプ其他內外數十名の工業界の大成功者が其の成功の動機、立志奮鬪の經歷を通俗平易に面白く記したれば靑年發奮の刺戟劑たるべし工業靑年叢書第一編（五十五錢東京神田表神保町三大日本工業敎育會）



▲京城では繫いでない犬は持つて行くと新聞に出てゐたがまだ繫がれてない犬が方々で走り廻つてゐる（狂犬保護者）▲市內黄金町方面では前からよく蠅退治を行つてゐるが南大門外の各所では全くやつてゐない殊に吉野町邊の朝鮮人の飲食店と來たら夥しい蠅だ（配達夫）▲氣候の加減か此頃は麻疹が流行り出したから警戒せねばならぬ（醫師）▲土曜日の北行五列車に乘つて平壤へ往つて日曜日の六列車で歸つたが二等のボーイが伸々親切に客を取扱つて居るのを見て感心な子供だなと思つた（給仕注意生）▲訓鍊院へ野球に行く運動家には至極贊成だが彼の餘り清潔でもない運動服で胯から先やら脛から下を現はした姿で電車の內に不作法に踏んぞり返つて乘つて居るのは他の乘客に不都合だ（娘同伴の男）▲段々河水浴や水泳時期に近づいて來た毎年の事だが何とか完全な場所を今から選定準備して置て今年は學生のみならず一般男女の浴場に當て貰ひたい之は何人が經營しても必ず相當に引き合ひにはなるだろう（一敎育家）▲米價が天井見ずだから小賣が段々値段を揚げるのは當然だろうが下落したら必ず直に値下げする事を約束して置いて貰ひたい京城の商人は値上げばかりやつて値下げは何時も知らぬ顔をして居るからね（五人の家族）▲近頃蠅退治がやかましい丈け市中でも大分減少したが電車の內の蠅を何とかして貰はねと困る東大門外又は光熙門外麻浦方面から市中へ運び込んで來るものは非常なものだ衛生家の一考を切望す（回數乘車券）▲汚物掃除も大分能く行き届きだしたが午前十時乃至十一時頃市中を汚物車を引いて行くには閉口だ（看護）▲黄金町通に飼犬を繫いで置かぬ家が三四軒ある（通行人）

大阪三品時價　下關期米相場　仁川期米　[illegible]

一差止水栓外三點右賣拂ス詳細ハ五月參拾壹日以降ノ本府官報ニアリ　大正六年五月參拾壹日　京畿道



愈々腕卷時計シーズン來る
特別賣出値段　▲地方御註文向は代金引換小包料十七錢書留小包料十二錢
◎ニッケル側 四圓五十錢以上　◎銀側 六圓以上　◎十八金側 三十圓以上
京城本町　村木時計舖　電話長四七一番　振替京城三一九〇番

京日案內
普通一回前金五十錢　番外一回前金（匿名一圓五十錢增し）
▲申込後中途掲載中止の節は料金返戻せず ▲六回以上の御申込は特に割引致す ▲御照會の節は返信料封入の事

告　通

◎夜間隨意 一月謝三圓 速成算數教授 京城壽町三四 近江屋 山崎 86
◎讓渡 梨、林檎、桃、千五百本 植付の儘讓渡し度し希望の方は來談あれ（姓名在社）85
◎外交員招聘 希望者は本人御來談ありたし 京城郵便局橫 滿鮮旅行案內支社 83
求職 身元確實三十七男商業經驗有り事務給料不望永久的事業家に被雇度御一報を乞ふ 北米倉町電話一八九四方 S・K 88
◎洋鷄レグホン種鷄及雛百羽讓り渡し（少數宛にても宜し）（姓名在社）90
店員入用 二十歲前後 新龍山三角道路電車停留所南手 長府屋雜貨店（電話一六四番）80
◎融通 月收の御方へ極秘迅速簡易立替御報伺又は御來談 京城大和町三の三貳（柄澤前）起木屋 43
◎生徒募集 新學期開始 各科入學を許す修業期間六個月卒業後希望者は當會社女敎師に採用す シンガー裁縫女學院 87
◎職業を授く 多少の人格を要す 專或は副業にても可、毎日午前中本人來談地方は履歷書急送せよ 京城明治町二ノ九八、竹の屋まで 89
魔法瓶及魔法瓶中瓶取替 京城本町一丁目 電話一三四番 高木旅行用具店 91
恩給年金即時立替 西期無保險取扱確實也 京城南大門外 京義線沙里院 廣川商店 山口屋 84
移轉先 黄金町三丁目二七六 質 杉本喜太郎 電話三四六番 73
◎礦物定量分析 太平町二丁目二五 電話長三三四番 朝鮮公論社左橫小路 坂元分析所 45
カバン製造並修繕 京城明治町二丁目電話一八三三番 古賀鞄製造所 54

梅毒有無診斷液　ルエチン

梅毒は醫師の充分なる治療を受くれば完全に全治す、治療せざれば幾十年にても潛伏して身体の衰弱せる時に腦神經、內臟眼球、骨髓總ての臟器に種々の病症となりて現るものなり……其外部へ現れしものは治療に便なれども潛伏、遺傳、其他內臟に病勢の進みしものは外觀上診斷困難なる爲遂に適當なる時期を失し恐るべき結果を見る事あり、されば其原因の新古乃至は遺傳、潛伏の何を問はず梅毒の疑を有する者は先づ醫師に就て「ルエチン」の注射を試みられよ其有無直に判明し疑問は速に解決すべし……本品は從來唯一の梅毒診斷法たりしワツセルマン氏の反應より遙に銳敏確實且つ簡易なる注射を以て殆ど百%に陽性を現す理想的梅毒診斷液なり……

說明書あり申込第次送呈す
發賣元 東京京橋區南傳馬町一 星製藥株式會社
關西代理店 大阪東區道修町二 小西喜兵衛

京城黄金町三丁目 電話二四四三番 振替京城三三六八番　內科、眼科、小兒科　本田醫院

痔核。痔瘻。脫肛。裂痔。痔出血。直腸脫　本田醫院痔疾部長 木田建造　京城肛門療院
肛門病の話 附痔疾特種注射根治療法解說書入用の方は郵券十二錢を要す

大口歡迎　京城黄金町長橋町入口 電話二九一六番　質　田村質店　商品擔保便利取扱

最新刊
進むべき道 南條文雄 一、三〇
官業及保護會社制度論 一、二〇
手工科新敎材集成 岡山秀吉 二、八〇
小學校に於ける校外敎授と遠足 二、一〇
理科敎授の實際 長澤末次郎 一、〇〇
國語讀方作法要義 一、九〇
新編球算提要 八五
靑年團及其敎育 一、八〇
臺灣の歌謠と名著物語 一、五〇
有識故實辭典 二、五〇
ローマンス 五五
大正六年度朝鮮職員錄 五五
醫原、助產代議 七〇
修養の力 五五
滿蒙現勢 六五
支那自治か研究 一、〇〇
諸職かな帖 四〇
[illegible]
大阪屋號書店　京城本町一丁目 振替京城二五七三番

金泉醴泉間自動車時間　[illegible]　金泉織居自動車支部

大邱浦項間自動車時間　[illegible]　大塚農場自動車所　大邱出張部

尼崎汽船仁川出帆
群山、木浦、釜山、下關、神戸、大阪行
○大有丸 六月十二日後四時出帆
○君が代丸 七日後四時出帆
○秀吉丸 六月四日後四時出帆
○神代丸 六月九日後四時出帆
仁川海岸通五丁目 電話五十九番 高杉回漕部

汽船釜山出帆廣告
門司、神戸、大阪行 ○和歌浦丸 六月二十日後五時出帆
○立神丸 九日後五時出帆
元山、西湖津、新浦、城津、清津行 ○第三琴平丸 六月十九日後四時出帆
○第三琴平丸 八日後六時出帆
門司、宇品、神戸、大阪行 六月 日後六時出帆
佐須奈、嚴原、壹岐、博多行 ○天草丸 毎月二日九日十四日廿一日廿六日 午後十時出帆
釜山港埠立新町 取扱店 大池回漕部

日本郵船仁川出帆
○大連行、太沽(天津)牛莊行 相模丸 六月廿四日正午出帆
新潟丸 六月十三日正午出帆（新潟丸は船客鎮南浦上陸）
三河丸 六月十三日正午出帆
仁川海岸町一丁目 電話 回漕店

共同汽船仁川出帆
阿波共同汽船株式會社
○芝罘、大連行 生利號 六月三日午後入港 六月五日前十時出帆
仁川代理店 本町四丁目（電話一七三番）野口商會
元山代理店 田口回漕部
京城取次店 南大門 河村運送店

大阪商船仁川出帆
關門、神戸、大阪行 南都丸 六月十日後二時出帆　×油頭丸 六月二日後二時出帆
木浦、釜山、嚴原、鄉の浦、長崎行 ×安東丸 六月七日正午出帆
橫濱行 ×漳州丸 六月廿一日後二時出帆　△福州丸 六月六日後二時出帆
南浦門 ×油頭丸 六月十二日正午出帆　南都丸 六月七日
鎮南浦、大連行 ×安東丸 六月二日後二時出帆
大連直航 ×潮州丸 六月十六日正午出帆　△福州丸 六月廿二日
西湖津新浦城津清津行（元山出帆） 宮島丸 六月四日後十二時出帆
清津行（元山出帆） 安平丸 六月十六日後十二時出帆
上海、基隆、打狗行（大連出帆） 湖北丸 六月二十日前六時出帆　基隆丸 六月三日後四時出帆
御注意 朝鮮鐵道及び南滿洲鐵道各驛と連絡切符發賣仕候 御乘船客は本船出帆約一時間前乘船 ×印は船客御斷り
切符發賣所 大阪商船會社仁川支店
切符發賣所 內國通運會社京城支店
切符發賣所 仁川京城通り 開豐旅館

朝鮮郵船出帆
○江原丸 六月三日　○黄海丸 六月十三日　○咸鏡丸 六月十八日 釜山發
○穩城丸 六月五日　○昌平丸 六月五日　○鏡城丸 六月十四日 元山發
○昌平丸 六月 日 元山發
○金德丸 六月三日 釜山發
○江陵丸 毎日 浦項發
○三浦丸 六月五日 釜山發
○海州丸 ○新義州丸 ○慶寶丸 毎日 釜山發
○平壤丸 六月四日 元山發
○順天丸 三日目毎 木浦發
○慶興丸 六月四日 木浦發
○慶興丸 六月二日 木浦發
○公州丸 六月七日 木浦發
○麗水丸 ○晉州丸 六月二日 六月七日 仁川發
○宗信丸 六月一日 仁川發
○金州丸 ○南陽丸 毎日午前 仁川發
本社京城 松原運送店